

静岡県御前崎市

# 文化財年報 XVIII

令和3年度



2022

御前崎市教育委員会

表紙写真

御前崎市指定有形文化財「玄翁堂の十一面観音座像」

静岡県御前崎市

# 文化財年報 XVIII

令和3年度

2022

御前崎市教育委員会





写真 1 国指定重要文化財「御前埼灯台」



写真1 国指定重要文化財「旧官舎」



写真2 国重要文化財附指定 旧回転機械分銅自動巻揚装置

# 序 文

御前崎市は、広大な遠州灘を望む浜岡砂丘、数多くのウミガメが訪れる御前崎海岸、お茶の産地で有名な牧ノ原台地、白亜の灯台など、豊かな自然や風光明媚な環境に恵まれています。

また、縄文時代早期前半の異形局部磨製石器（トロトロ石器）が出土した西原遺跡をはじめ、戦国時代の城館にいたるまで100箇所以上の様々な遺跡があります。さらに、古くからの信仰形態を残す桜ヶ池のお櫃納めなどの無形民俗文化財や庶民の厚い信仰によって永く守られてきた仏像や石仏などの有形文化財を各所に見ることができます。

文化財保護行政の役割は、このような先人達が守ってきた自然環境や歴史的文化遺産を保護・保存して後世に伝えていくとともに、より多くの方が当時の文化や歴史に触れ、その多様な価値によって豊かな生活を享受できるよう、それらの公開や活用を図っていくことです。そこで令和2年度も下記のように文化財保護事業を行いました。

つきましては、文化財の所有者や管理者、地域の方々をはじめとした市民の皆様の御理解、御協力に感謝し、今後もより一層の御支援をお願い申し上げます。

以下、令和3年度に実施した文化財保護事業について報告します。

- 埋蔵文化財試掘調査2件(八幡平城跡・中田西ノ谷遺跡)
- 埋蔵文化財工事立会1件(中田西ノ谷遺跡)
- 出土遺物整理事業(今年度試掘調査を実施した遺跡の遺物や図面等の整理)
- 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業
- 国指定重要文化財「御前崎灯台」の指定
- 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」保護事業
- 市指定論有形文化財「白羽神社本殿」の修理
- 市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の青い目の人形」の保存修復
- 石造十一面観音立像説明看板の修繕工事
- 旧妙音庵薬師堂案内看板の修繕工事
- 国指定重要文化財 御前崎灯台説明看板の設置工事
- 御前崎市文化財保護審議会の開催
- 御前崎市立第一小学校の埋蔵文化財出張授業
- 御前崎市立浜岡北小学校の指定文化財(旧朝比奈小学校の青い目の人形)出張授業
- ふるさとの自然まもり隊における指定文化財(御前崎のウミガメ及びその産卵地)出張授業
- 御前崎灯台の国指定重要文化財登録に伴う周知広報活動
- 御前崎市文化財講座(白羽地区)の開催
- 歴史民俗資料等の利用・貸出し

令和4年3月31日

御前崎市教育委員会教育長 河原崎 全

# 例 言

1 本書は、令和3年度において御前崎市教育委員会が実施した文化財保護事業についてまとめたものである。

2 文化財保護事業は、埋蔵文化財調査・文化財保護・管理・文化財活用啓発活動に区分した。

3 令和3年度に試掘調査を実施した八幡平城跡、中田西ノ谷遺跡の試掘調査の概報に掲載した。

4 試掘調査の体制は、次のとおりである。

調査主体 御前崎市教育委員会

調査員 村本 薫

調査協力員 前島和子、松下 柱、原口東海夫

5 アカウミガメ保護活動の体制は、御前崎市教育委員会からウミガメ保護監視員を委嘱した。

ウミガメ保護監視員 高田 正義（通算 26年目）

大澤 茂美（通算 22年目）

良知 正美（通算 16年目）

澤部 春市（通算 10年目）

早山 彰夫（通算 7年目）

横山 俊明（通算 4年目）

渡辺 元治（通算 3年目）

永井 忠勝（通算 1年目）

6 本書の刊行に関する事務は、御前崎市教育委員会社会教育課が行った。

教 育 長 河原崎 全

教 育 部 長 長尾 詔司

社会教育課長 小野田 明人

芸術文化係長 村本 薫

芸術文化係 鈴木 清嗣

7 本書の執筆は文化財担当が分担して行い、編集を村本が行った。執筆分担は以下のとおりである。

I 埋蔵文化財調査 1～4 村本 薫

II 文化財保護・管理 1 鈴木清嗣 2～7 村本 薫

III 文化財活用啓蒙活動 1～7 村本 薫

IV 指定文化財一覧表 V 文化財関係刊行図書一覧 村本 薫

8 本書に収録した図、写真はすべて御前崎市教育委員会が保管している。



# 目 次

巻頭図版

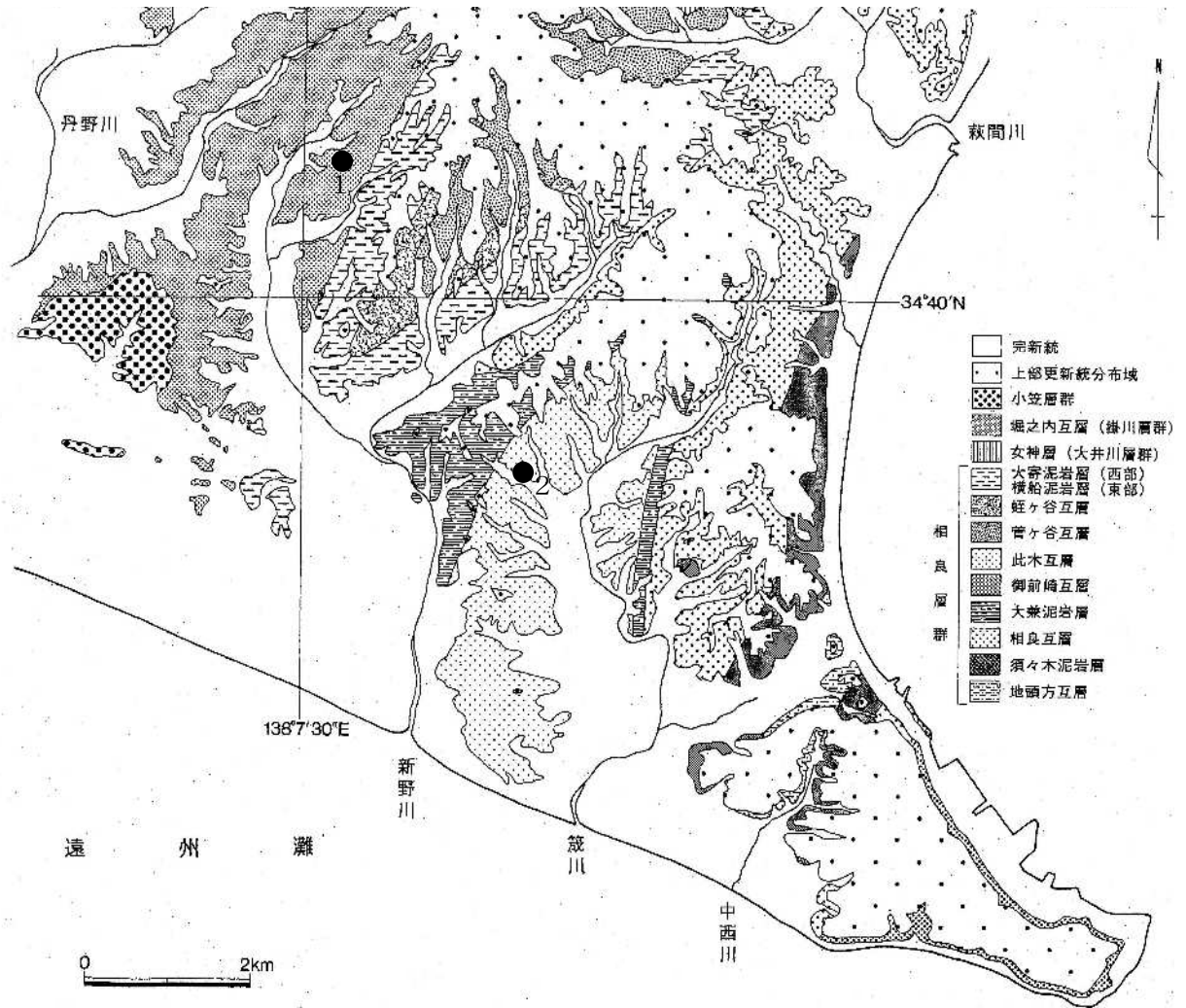
序 文

例 言

目 次

I	埋蔵文化財調査	1
1	市内遺跡試掘調査・工事立会の概要	1
2	八幡平城跡試掘調査報告書	2
3	中田西ノ谷遺跡試掘調査報告書	13
4	埋蔵文化財整理事業	17
II	文化財保護・管理	18
1	国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業	18
2	国指定重要文化財「御前崎灯台」の指定	42
3	国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の保護事業	47
4	市指定有形文化財「白羽神社本殿」の修理	50
5	市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の青い目の人形」の修理	60
6	文化財看板の修繕及び設置工事	71
7	御前崎市文化財保護審議会	74
III	文化財活用啓発活動	75
1	埋蔵文化財出張授業	75
2	指定文化財出張授業	77
3	御前崎市文化財講座	78
4	御前崎灯台の国重要文化財指定に伴う周知広報活動	81
5	国指定重要文化財の現役灯台パネル展	87
6	写真資料の利用	88
7	歴史民俗資料等の貸出	89
8	歴史民俗資料等の特別利用許可	90
IV	指定文化財一覧	91
V	文化財関係刊行図書一覧	92

# 御前崎市の地形と調査・工事立会遺跡等の位置



## 埋蔵文化財試掘調査・工事立会箇所一覧

- 1 八幡平城跡
- 2 中田西ノ谷遺跡

# I 埋蔵文化財調査

## 1 市内遺跡試掘調査・工事立会の概要

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)及びその周辺地において、工業用地候補地用地測量・用地調査業務委託や農地造成事業等の開発事業に伴い、埋蔵文化財の所在の有無等を確認するため、試掘調査・工事立会を実施した。

試掘調査は、現地を詳細に踏査するとともに試掘坑を設定し、遺物や遺構の所在の有無や土層断面などを確認した。今年度は下表に示す、2件の試掘調査と1件の工事立会を実施した。

第1表 令和3年度 市内遺跡試掘調査・工事立会実施遺跡等一覧表

No.	遺跡等名	調査地	調査原因	事業主体	実施時期	面積/概要
1	八幡平城跡	御前崎市 新野字有ヶ谷	新野工業用地候補地用地測量・用地調査業務委託	御前崎市	R 3. 9. 6 ~ R 3. 9. 15	試掘調査 20㎡ (試掘坑3カ所) 遺構・遺物未発見
2	中田西ノ谷遺跡	御前崎市 比木字中田西ノ谷	農地造成事業	個人	R 3. 12. 27	試掘調査 8㎡ (試掘坑2カ所) 遺構・遺物未発見
3	中田西ノ谷遺跡	御前崎市 比木字中田西ノ谷	農地造成事業	個人	R 4. 2. 2 ~ R 4. 3. 31	工事立会2,967㎡ 遺構・遺物未発見



写真1 中田西ノ谷遺跡工事立会風景1

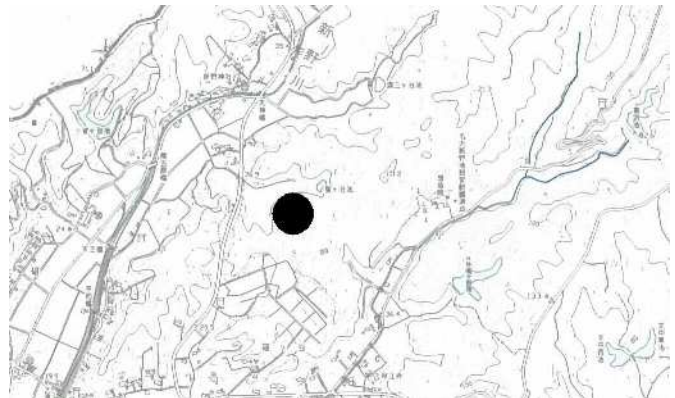


写真2 中田西ノ谷遺跡工事立会風景2

## 2 八幡平城跡試掘調査報告書

所在地 御前崎市新野 2555-21、  
2556、2539-1

調査主体者 御前崎市教育委員会  
調査担当者 社会教育課 村本 薫  
調査面積 20 m<sup>2</sup>(試掘坑 3 箇所)  
確認調査期間 令和 3 年 9 月 6 日～15 日  
調査目的 新野工業用地候補地用地  
測量・用地調査業務委託  
に伴う試掘調査



第 1 図 遺跡の位置(1/25,000)

### (1) 調査に至る経緯

令和 3 年 8 月 16 日に新野工業団地建設事業の新野工業用地候補地用地測量・用地調査業務委託に伴う周知の埋蔵文化財包蔵地である八幡平城跡の埋蔵文化財試掘・確認調査の依頼があった。

八幡平城跡は、中世から戦国時代にかけての城跡で、尾根部分に堀切跡が窪んでいることから、地表面からでも遺構が確認できる箇所が多くあり、二重の堀切や横堀の存在から、甲斐の武田氏による高天神城跡への繋ぎの城と推測されている。

今回の試掘調査の予定箇所は、八幡平城跡の北西にある尾根部分で、過去に静岡古城研究会の会員が作成した縄張図には書かれていない箇所であったため、堀切等の遺構を確認するための試掘調査を実施する必要があると判断された。

令和 3 年 8 月 21 日付で工事主体者である御前崎市商工観光課企業港湾室より、土地所有者の「埋蔵文化財試掘・確認調査承諾書」の提出があったことから、調査計画書を作成し、令和 3 年 8 月 26 日に御教社第 518 号で、御前崎市教育委員会教育長 河原崎全より静岡県教育委員会教育長宛てに文化財保護法 99 条の 1 に基づく「発掘調査について」を送付した。

そして、令和 3 年 9 月 6 日～15 日に当該地に約 7m×1m の試掘坑を 3 箇所設定し、堀切等の遺構の有無や遺物包含層の深さや厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

### (2) 調査概要

#### ① 調査方法

試掘調査は、新野工業団地建設事業予定地に試掘坑(約 7m×約 1m)を 3 箇所設定して実施した。なお、機材の搬入や水準点を試掘坑設置箇所まで測量する必要があったため、北側の聖ヶ谷の農道の草刈りを行い搬入路を確保してから、試掘調査を開始した。

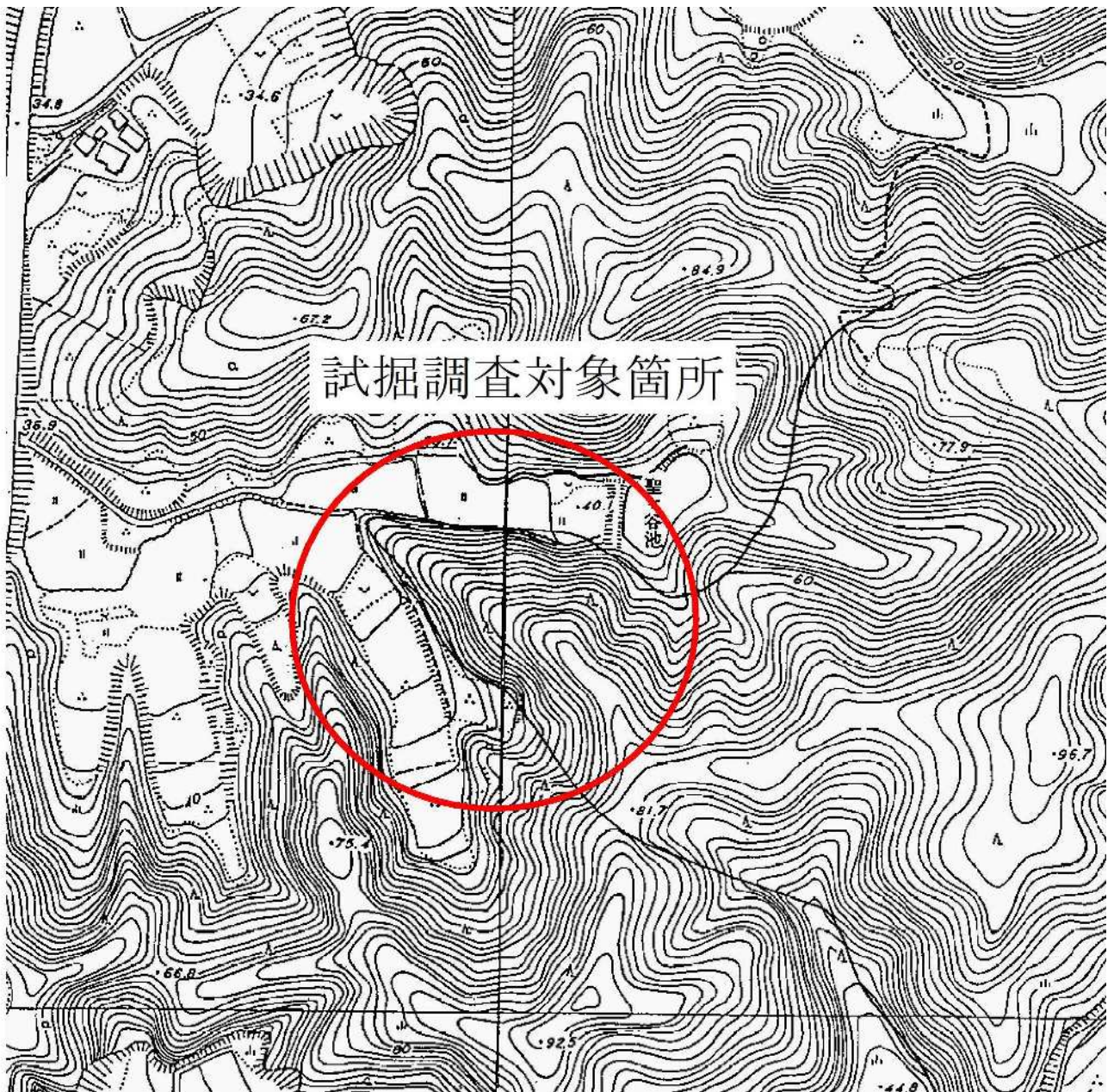
試掘坑の掘削は、人力で実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層断面図を作成した(基本層序については②のとおりである) 調査終了後、人力により埋め戻しを行い、その後、器材等を撤収して試掘調査を終了した。試掘坑の位置図については、新野工業用地候補地用地測量・用地調査業務委託の施工業者が 12 月頃に今回の試掘調査現場周辺に測量に入るため、その時に測量してもらうようにした。

② 基本層序

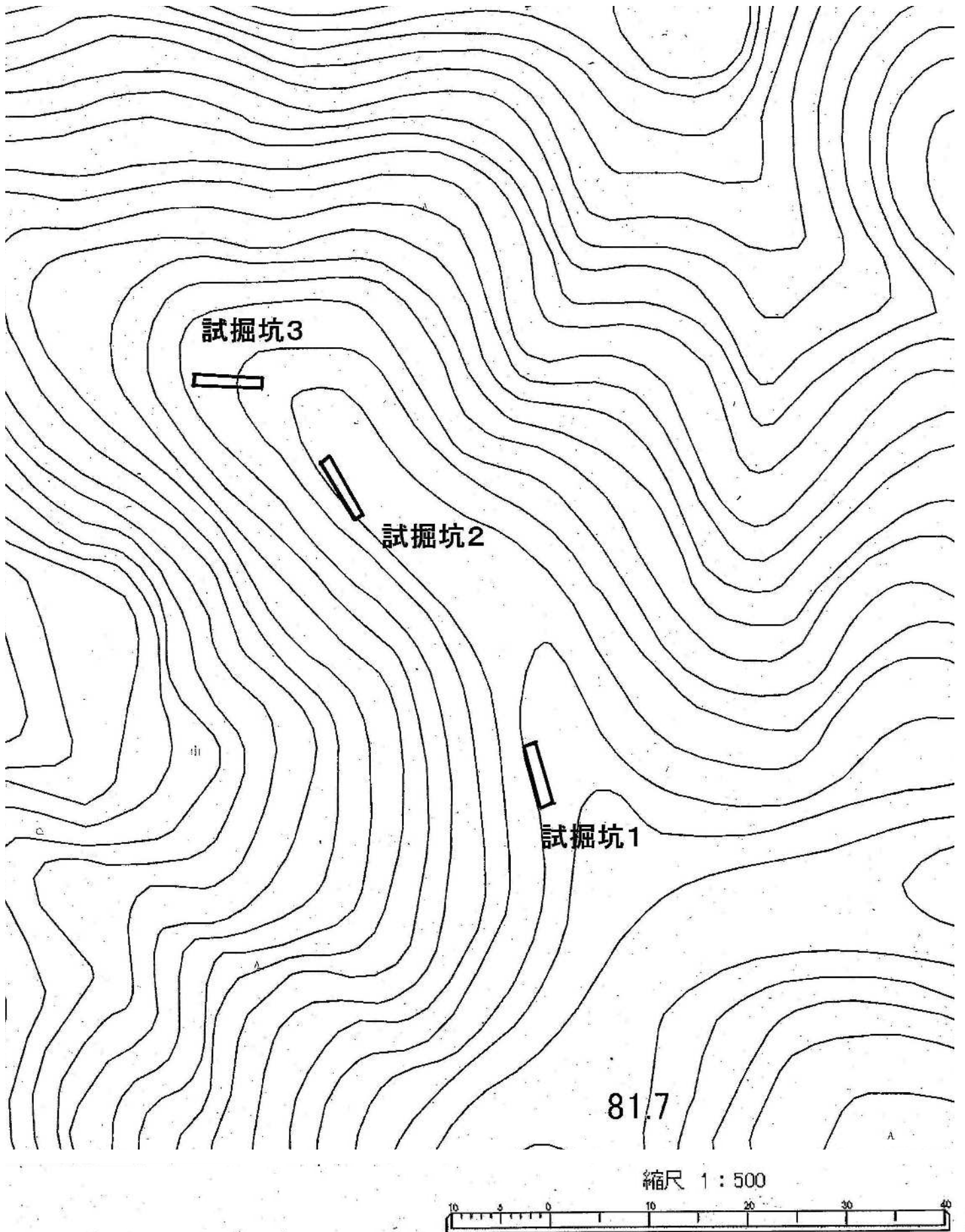
- I層 褐色土層 表土で柔らかく脆い。木の葉や根が多量に混入。
- II層 黄褐色泥岩層 堅く締まりがある。掛川層群の堀之内互層と考えられる。

(3) まとめ

今回の試掘調査では、八幡平城跡の北西にある尾根に試掘坑を3箇所設定して試掘調査を実施した。その結果、遺物や遺構は皆無であった。周辺の現地踏査も実施したが、堀切等の城跡の遺構は確認されなかったことから、この尾根部分は八幡平城跡の主体部では無い可能性が高いと推測される。



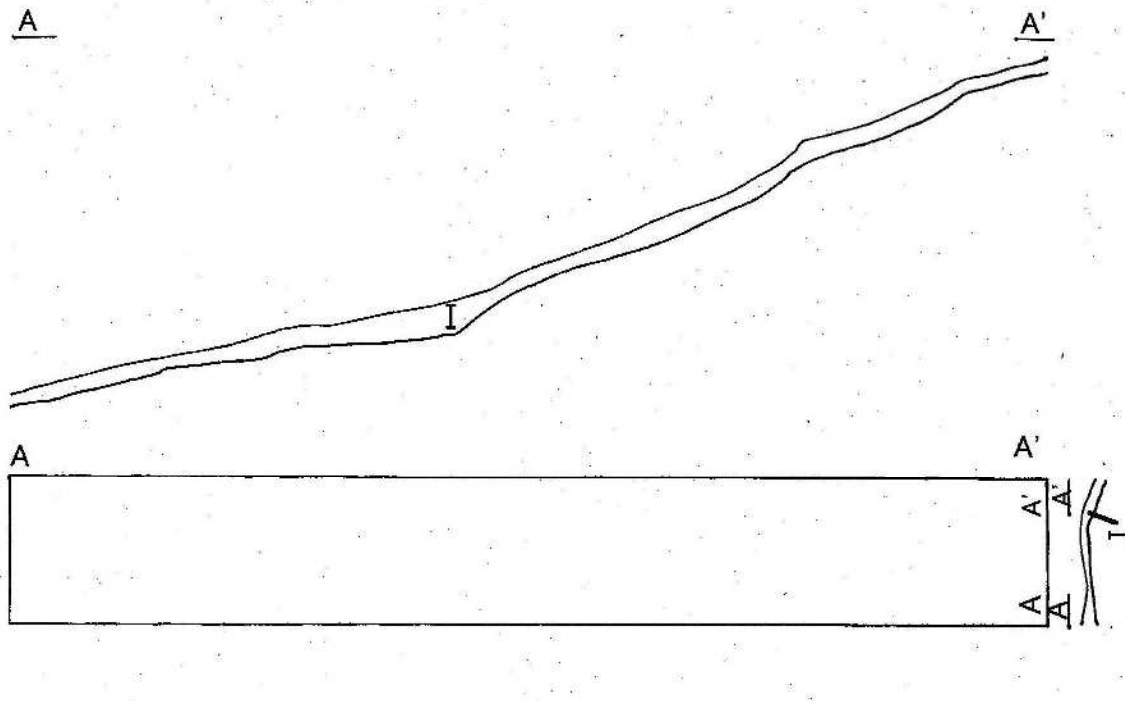
第2図 八幡平城跡試掘調査対象箇所位置図



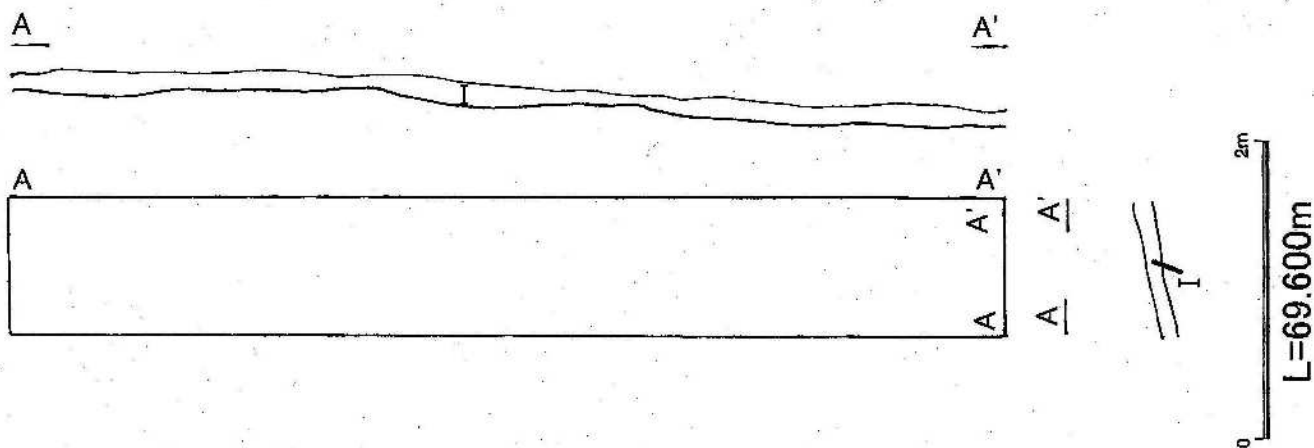
第3図 八幡平城跡試掘調査試掘坑配置図

第4図  
八幡平城跡試掘調査  
試掘坑1～3実測図

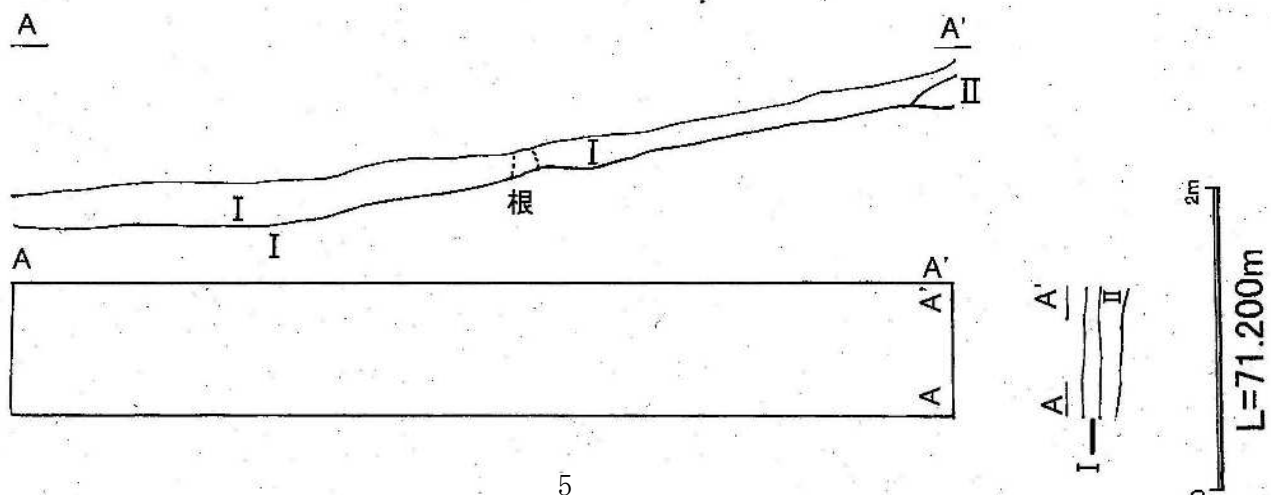
試掘坑3



試掘坑2



試掘坑1





1 調査地点への進入路(農道)の草刈作業風景 1



2 調査地点への進入路(農道)の草刈作業風景 2



3 調査地点への進入路(農道)の草刈作業風景 3



4 調査地点への進入路(農道)の草刈作業完了



5 調査地点への進入路(農道)の草刈作業前



6 調査地点への進入路(農道)の草刈作業完了後

写真3 八幡平城跡試掘調査 1





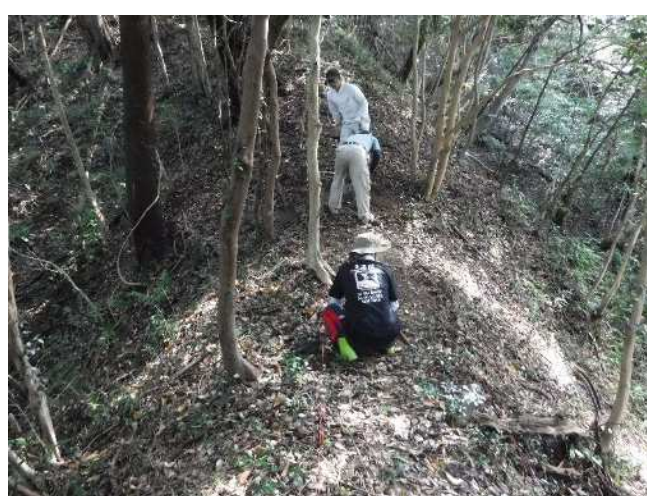
1 水準点測量風景



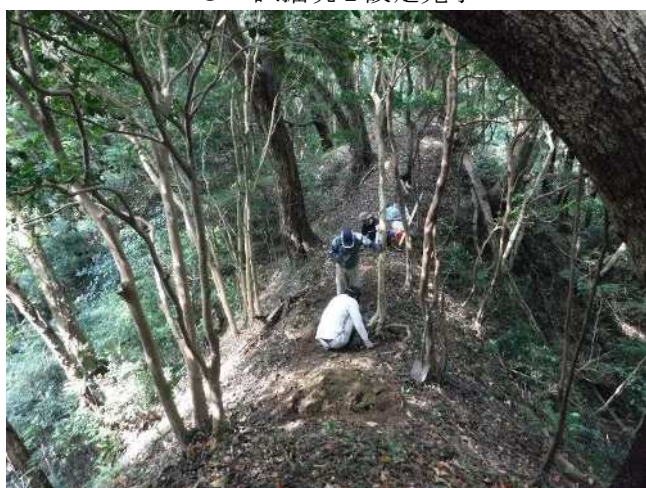
2 試掘坑1調査前



3 試掘坑1設定完了



4 試掘坑1掘削作業着手



5 試掘坑1掘削作業風景1



6 試掘坑1掘削作業風景2

写真4 八幡平城跡試掘調査2



1 試掘坑 1 完掘(北側から)



2 試掘坑 1 完掘(南側から)



3 試掘坑 1 東壁土層断面(南西側から)



4 試掘坑 1 北壁土層断面(南側から)



5 試掘坑 1 埋戻風景



6 試掘坑 1 埋戻完了(北側から)

写真 5 八幡平城跡試掘調査 3



1 試掘坑 2 調査前



2 試掘坑 2 設定作業風景



3 試掘坑 2 掘削作業風景 1



4 試掘坑 2 掘削作業風景 2



5 試掘坑 2 完掘(北側から)



6 試掘坑 2 完掘(南側から)

写真 6 八幡平城跡試掘調査 4



1 試掘坑 2 東壁土層断面(北西側から)



2 試掘坑 2 北壁土層断面(南側から)



3 試掘坑 2 埋戻風景



4 試掘坑 2 埋戻完了(北側から)



1 試掘坑 3 調査前



2 試掘坑 3 掘削作業着手

写真 7 八幡平城跡試掘調査 5



1 試掘坑3掘削作業風景



2 試掘坑3完掘(南側から)



3 試掘坑3完掘(北側から)



4 試掘坑3東壁土層断面(北西側から)



5 試掘坑3実測作業風景



6 試掘坑3埋戻完了(北側から)

写真8 八幡平城跡試掘調査6



1 試掘坑3埋戻状況



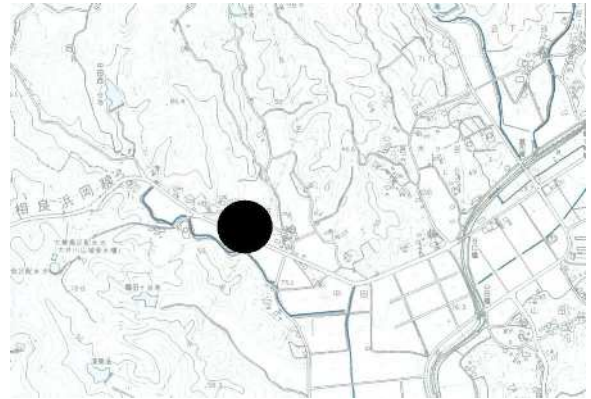
2 試掘坑2埋戻状況



3 試掘坑1埋戻状況

### 3 中田西ノ谷遺跡試掘調査報告書

所在地 御前崎市比木 4307-2・4307-3  
調査主体者 御前崎市教育委員会  
調査担当者 社会教育課 村本 薫  
調査面積 8 m<sup>2</sup> (試掘坑 2 箇所)  
確認調査期間 令和 3 年 12 月 27 日  
調査目的 農地造成事業に伴う試掘調査



第 5 図 試掘調査の位置 (1/25,000)

#### (1) 調査に至る経緯

令和 3 年 12 月 8 日付けで栗山義久氏より、農地造成事業予定地における埋蔵文化財包蔵地の所在の有無の照会があった。御前崎市遺跡地図で確認した結果、周知の埋蔵文化財包蔵地である中田西ノ谷遺跡にあたることから、試掘調査が必要であるとの回答をした。

そして、令和 3 年 12 月 21 日付けで埋蔵文化財試掘・確認調査依頼書、令和 3 年 12 月 27 日付けで埋蔵文化財試掘・確認調査承諾書の提出があったため、令和 3 年 12 月 27 日に農地造成事業予定地に 2 m×2 m の試掘坑を 2 箇所設定して試掘調査を実施した。

#### (2) 調査概要

##### ① 調査方法

試掘調査は、令和 3 年 12 月 27 日に実施した。農地造成事業予定地に試掘坑を 2 箇所設定して試掘調査を実施した。表土の掘削は主に重機(バックホー0.25 級)を使用して実施した。

試掘坑の掘削作業終了後、壁面の精査を行ない、土層断面や完掘状況の写真撮影を実施した。その後、壁の土層断面図を作成し、各試掘坑の試掘調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

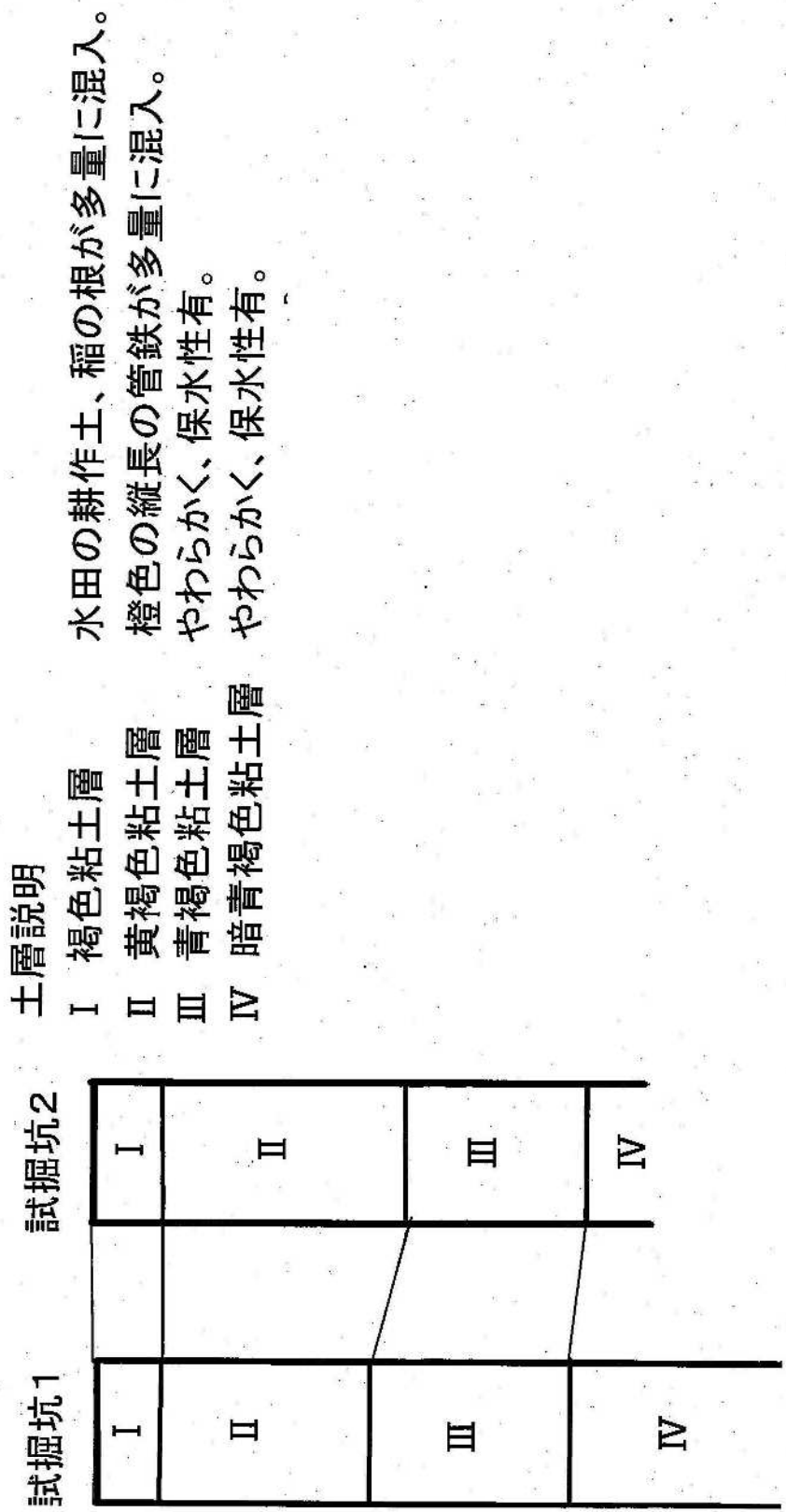
最後に試掘坑配置図を作成し、器材を撤収して試掘調査を終了した。基本層序や柱状図第 6 図に記載したとおりである。

#### (3) まとめ

今回の試掘調査では、中田西ノ谷遺跡の農地造成事業予定地に試掘坑を 2 箇所設定して試掘調査を実施した。その結果、遺構や出土遺物は皆無であった。今回予定されている農地造成事業は、田を 160cm ほど土で埋めて、オリーブなどを植える事業であるため、地下の所在していると思われる埋蔵文化財包含層については今後も保存が図られる。

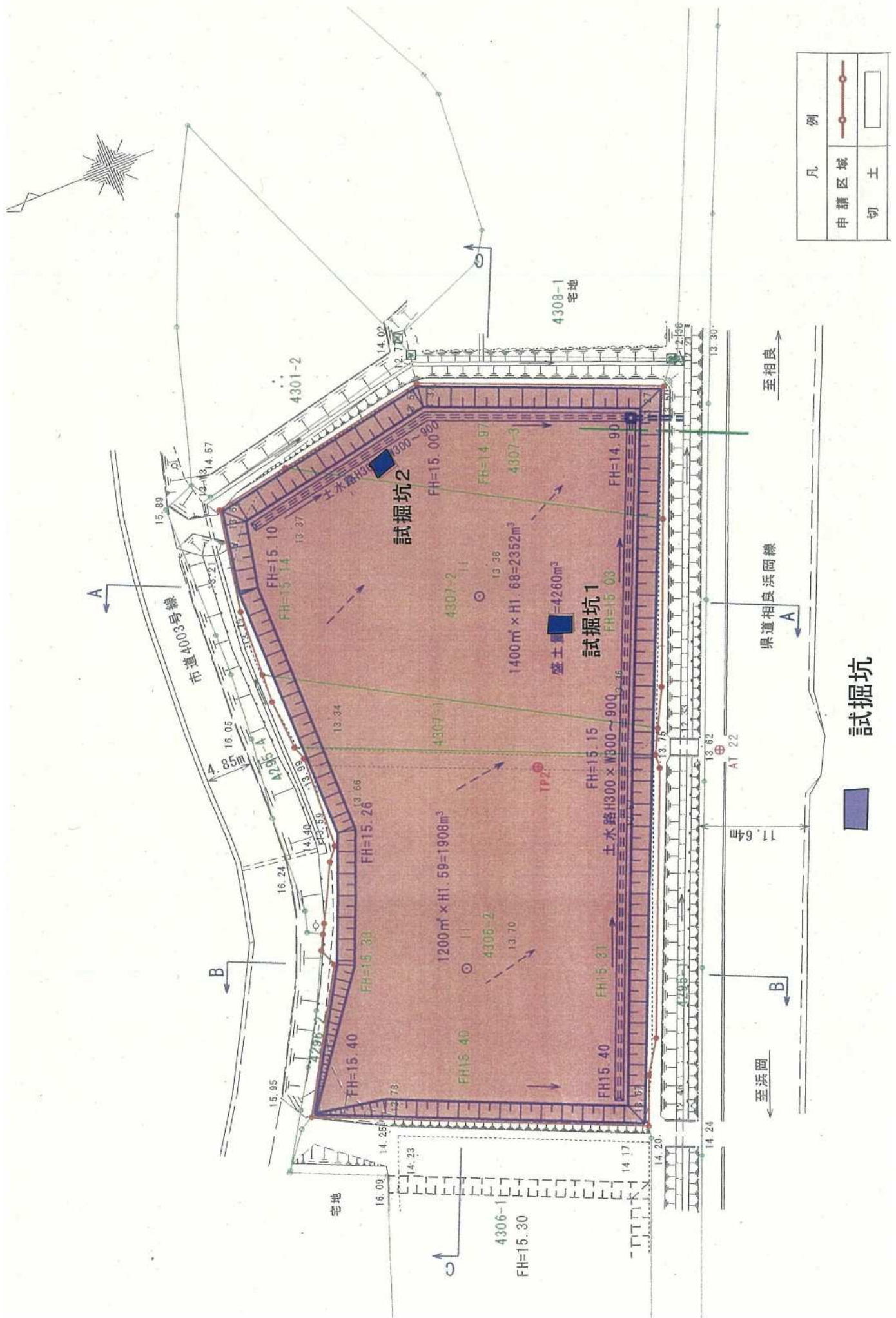


写真 10 中田西ノ谷遺跡工事立会写真風景



第6図 中田西ノ谷遺跡試掘調査 試掘坑土層断面図





第7図 中田西ノ谷遺跡試掘調査 試掘坑配置図及び土層断面図



試掘坑 1 試掘調査掘削作業着手



試掘坑 1 試掘調査掘削作業風景



試掘坑 1 試掘調査南壁土層計測状況



試掘坑 1 試掘調査南壁土層断面



試掘坑 1 埋め戻し風景(遠景)



試掘坑 1 埋め戻し風景(近景)

写真 11 農地造成事業に伴う中田西ノ谷遺跡試掘調査 1



試掘坑 2 試掘調査掘削作業風景



試掘坑 2 試掘調査南壁土層断面



試掘坑 2 試掘調査南壁土層計測状況



試掘坑 2 埋め戻し風景



試掘坑 2 埋め戻し完了

写真 12 農地造成事業に伴う中田西ノ谷遺跡試掘調査 2

#### 4 埋蔵文化財整理事業

市内遺跡の整理作業は、令和 3 年度に試掘調査を実施した八幡平城跡遺跡試掘調査の図面類の整理作業及び、中田西ノ谷遺跡試掘調査の図面類の整理作業などを実施した。

## II 文化財保護・管理

### 1 国指定天然記念物『御前崎のウミガメ及びその産卵地』保護事業

#### (1) 調査報告

##### ① ウミガメ上陸・産卵地

御前崎海岸には、昔から主にアカウミガメが上陸し、産卵をしている。世界的にも希少動物となったアカウミガメを保護するため、昭和55年3月6日に「御前崎のウミガメ及びその産卵地」が国指定天然記念物に指定された。

産卵地としての指定区域は、下岬海岸及びキンスから東松沢川までの約1.9kmの海岸部であり、御前崎海岸の全体というわけではなく、第1区の一部と、第2区、第3区が指定地内となり、第4区、第5区は指定地外である。特に、第2区、第3区、第4区、第5区は、護岸堤の設置や高波による海岸の砂の流出により、産卵場所が減少している。第1区に関しては、砂の堆積がみられるなど産卵場所の確保は他区に比べよいが、砂を掘ると水が湧く等、産卵適地であるとはいえない。御前崎地区、浜岡地区の海岸についてもアカウミガメの上陸・産卵が確認されているが、今年度も、上陸の痕跡のみで、産卵には至っていないケースが多くみられた。

令和3年度においては、アカウミガメの上陸・産卵頭数及び産卵個数は昨年よりも減少したが、ふ化頭数は昨年よりも増加し、ふ化率は昨年よりも上回った。

ウミガメの上陸頭数や産卵個数の増減の原因はアカウミガメの生態が解明されていない現時点では、明確な回答が出ない状態である。ウミガメの産卵周期にかかわる現象であれば、再度増加に転ずることも考えられるため、その推移を見守るとともに、産卵場所となる海岸の保全に努めたい。

##### ② 巡視区域と保護監視員

教育委員会から委嘱された8名(御前崎海岸4名・浜岡海岸4名)の保護監視員が担当区域を巡視して、上陸・産卵頭数等の確認調査等を実施した。

第1区	マリンパーク	から	元	根	(横山 俊明)
第2区	元	根	から	芹	沢 (大澤 茂美)
第3区	芹	沢	から	東松沢川	(大澤 茂美)
第4区	東松沢川	から	尾	高	(澤部 春市)
第5区	尾	高	から	箆川	(高田 正義)
浜1区	新野川	から	本町・中町の境		(永井 忠勝)
浜2区	本町・中町の境	から	七つ山・塩原の境		(渡辺 元治)
浜3区	七つ山・塩原の境	から	塩原・合戸の境		(早馬 彰夫)
浜4区	塩原・合戸の境	から	合戸・掛川市の境		(良知 正美)

##### ③ 保護監視員の任務

- ・産卵シーズンの毎朝、各自担当する区域の巡視
- ・ふ化開始からふ化終了までのふ化場巡視

- ・ウミガメに関する注意、呼びかけ
- ・上陸頭数、産卵頭数、産卵個数、ふ化頭数の確認調査
- ・卵及び子ガメの安全管理（ふ化場への移動）
- ・子ガメのふ化管理と放流
- ・海岸に漂着したウミガメの死骸処理及び供養

#### ④ 令和3年度ウミガメ保護監視員及び事務局の主な活動記録

（全体活動）

- ・ウミガメ保護監視員による早朝、夜間巡視（5月15日開始）
- ・ふ化巡視（7月15日開始）

<4月>

- 19日 ウミガメ保護監視員会議
- 27日 ふ化場天地返し

<5月>

- 6日 ウミガメ第2ふ化場フェンス撤去工事
- 7日 子亀供養祭
- 11日 亀バックホーム大作戦（御前崎中学校行事）
- 15日 ウミガメ保護活動開始
- 31日 アカウミガメ初上陸・初産卵【5/31 小僧山】

<6月>

- 9日 子ガメ放流会（御前崎小学校行事）
- 11日 アカウミガメ初産卵【6/11 浜岡砂丘 102個】

<7月>

- 17日 ウミガメ保護看板取替え工事・ウミガメ保護看板塗装工事

ウミガメ産卵観察会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

<8月>

- 13日 ウミガメ初ふ化【5/27 浜岡砂丘 産卵分63頭】

団体子ガメ放流観察会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

一般子ガメ放流観察会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

<9月>

- 15日 子ガメ受け入れ式（御前崎小学校）

<11月>

- 1日 アカウミガメふ化場卵掘り起こし

<3月>

視察研修（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

#### ⑤ 上陸・産卵・ふ化状況

令和3年度における御前崎市のアカウミガメ上陸・産卵・ふ化状況については、集計表を掲載する。



1 R3.5.7 子亀供養祭



2 R3.5.11 亀バックホーム大作戦 1



3 R3.5.11 亀バックホーム大作戦 2



4 R3.6.9 御前崎小学校ウミガメ放流 1



5 R3.6.9 御前崎小学校ウミガメ放流 2



6 R3.6.11 初産卵卵採捕 102 個

写真 13 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子 1

第8図

ウミガメ巡視区域図 (御前崎地区)

ウミガメの上陸・産卵地点の名称については、昔から呼び伝えられている地名を使用した。

- 指定地
- 産卵頭数
- 上陸頭数



第2表

令和3年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31										1					1			
月計										1					1			
総計										1					1			

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。



第3表  
令和3年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			(6月分) 合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6									1							1		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16									1	1	141					1	1	141
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27	1	1	126													1	1	126
28																		
29																		
30																		
月計	1	1	126						2	1	141					3	2	267
総計	1	1	126						3	1	141					4	2	267

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第4表

令和3年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4							2	1	100							2	1	100
5																		
6																		
7	1	1	136							1						2	1	136
8																		
9																		
10																		
11																		
12	1															1		
13																		
14																		
15																		
16	1															1		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24	1	1	143													1	1	143
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31	1															1		
月計	5	2	279				2	1	100	1						8	3	379
総計	6	3	405				2	1	100	4	1	141				12	5	646

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第9図

ウミガメ巡視区域図 (浜岡地区)

● 産卵頭数

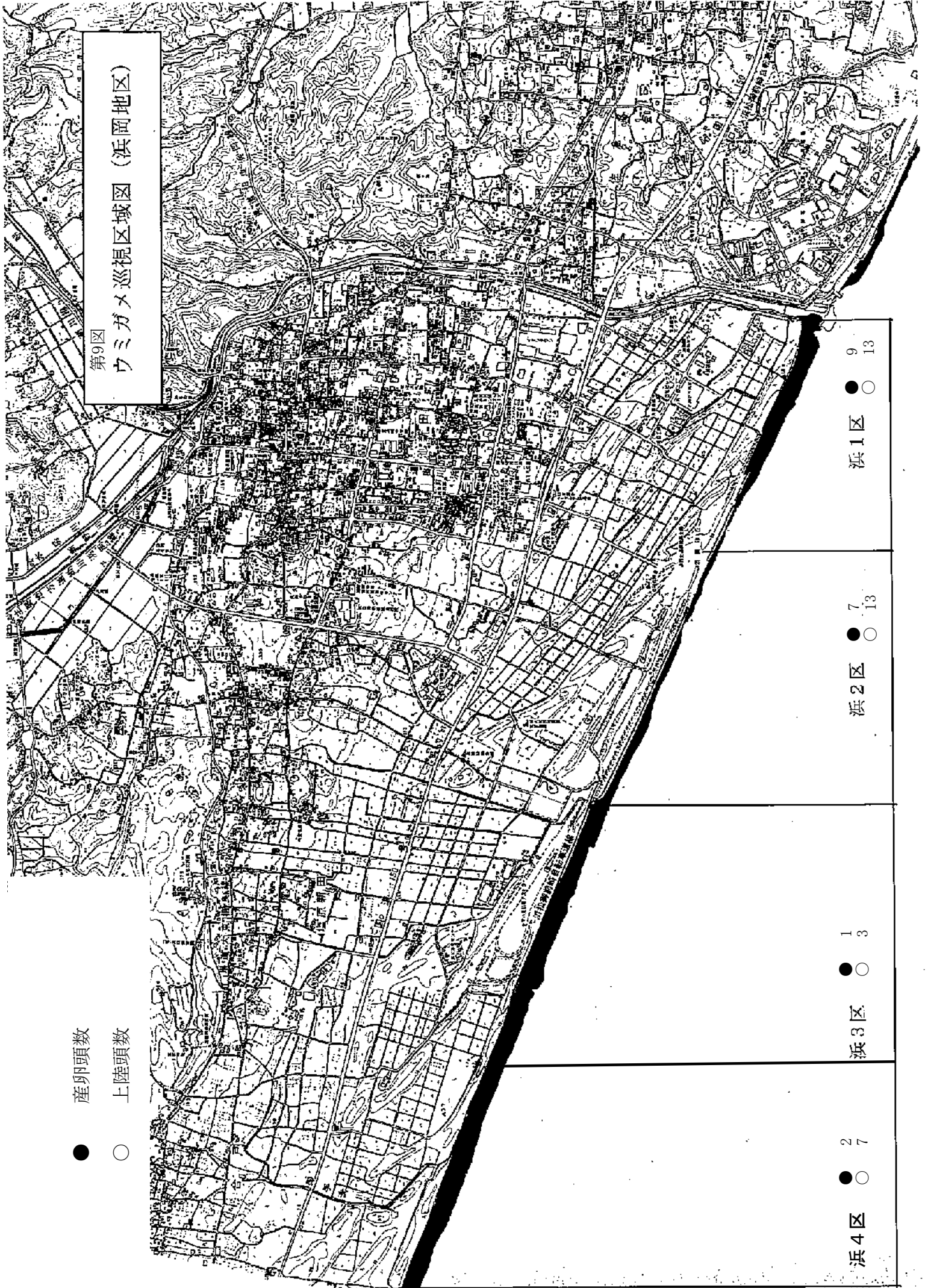
○ 上陸頭数

● 2  
○ 7  
浜4区

● 1  
○ 3  
浜3区

● 7  
○ 13  
浜2区

● 9  
○ 13  
浜1区



第5表 令和3年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4	1	1	130												1	1	130	
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14	1	1	103												1	1	103	
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
月計	2	2	233												2	2	233	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
総計	8	5	638				2	1	100	4	1	141			14	7	879	

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第6表 令和3年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	6月16日	小僧山	141	8月20日	5		65	3.54%	第4区:朝
				計	5	0			
2	6月27日	アカガネ	126	8月24日	2		58	7.14%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝
				8月25日	4		59		
				8月26日	3		60		
				計	9	0			
3	7月4日	広沢	100					0.00%	第3区:
				計	0	0			
4	7月7日	マリンパーク	136	8月27日	1		51	41.91%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝
				8月28日	50		52		
				8月29日	4		53		
				8月30日	2		54		
				計	57	0			
5	7月24日	通り	143	9月15日	84		53	58.74%	第1区:朝
				計	84	0			
6	8月4日	通り	130	10月3日	84	10	60	70.00%	第1区:夜 第1区:朝3、夜1 第1区:朝 第1区:夜 第1区:朝
				10月4日	4		61		
				10月5日	1		62		
				10月8日	1		65		
				10月10日	1		67		
				計	91	10			
7	8月14日	海藻場	103					0.00%	第1区:
				計	0	0			
	※				1				
合計			879		247	20			
平均							58.57	28.10%	

放流頭数(御小20匹除く)	207
0%巣を除いたふ化率	36.54%

最大ふ化率	70.00%
最小ふ化率	3.54%

※9/13朝、ふ化場内を歩き回っていたカメがいた。そのためどの巣穴からふ化したかは不明。

ふ化率	巣数	比率	卵数	比率
90%以上	0	0.00%	0	0.00%
80%以上90%未満	0	0.00%	0	0.00%
70%以上80%未満	1	14.29%	130	14.79%
60%以上70%未満	0	0.00%	0	0.00%
50%以上60%未満	1	14.29%	143	16.27%
40%以上50%未満	1	14.29%	136	15.47%
30%以上40%未満	0	0.00%	0	0.00%
20%以上30%未満	0	0.00%	0	0.00%
10%以上20%未満	0	0.00%	0	0.00%
1%以上10%未満	2	28.57%	267	30.38%
0%	2	28.57%	203	23.09%
計	7	100.01%	879	100.00%

区名	巣数
第1区	5
第2区	0
第3区	1
第4区	1
第5区	0
計	7

第7表

令和3年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30									1				1		
31															
月計									1				1		
総計									1				1		

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第8表

令和3年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11				1	1	102							1	1	102
12															
13															
14															
15															
16				1	1	115							1	1	115
17															
18															
19									1				1		
20									1				1		
21	1												1		
22	2	1	54										2	1	54
23															
24				1	1	84							1	1	84
25									2	1	121		2	1	121
26															
27				1			1	1	115				2	1	115
28				1	1	121							1	1	121
29															
30															
月計	3	1	54	5	4	422	1	1	115	4	1	121	13	7	712
総計	3	1	54	5	4	422	1	1	115	5	1	121	14	7	712

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第9表

令和3年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計			
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数	
1																
2																
3																
4																
5				1									1			
6							1						1			
7	1	1	107	1									2	1	107	
8	1	1	102										1	1	102	
9	1												1			
10							1		1	1	119		2	1	119	
11				1	1	110			1				2	1	110	
12																
13				1	1	122							1	1	122	
14																
15																
16																
17																
18																
19	1												1			
20	1	1	131										1	1	131	
21																
22				2	1	142							2	1	142	
23																
24																
25	1	1	113										1	1	113	
26																
27																
28																
29																
30																
31	1	1	124	1									2	1	124	
月計	7	5	577	7	3	374	2		2	1	119		18	9	1,070	
総計	10	6	631	12	7	796	3	1	115	7	2	240		32	16	1,782

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。



第10表 令和3年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			(8月分・9月分) 合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1	1	1	130										1	1	130
2	1	1	136										1	1	136
3															
4															
5	1	1	105	1									2	1	105
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
月計	3	3	371	1									4	3	371
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
月計															
総計	13	9	1,002	13	7	796	3	1	115	7	2	240	36	19	2,153

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第11表 令和3年度 アカウミガメふ化状況集計表 (浜岡)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	6月11日	砂丘	102	8月13日	63		63	64.70%	第2区:朝 第2区:夜 第2区:夜
				8月21日	1		71		
				8月23日	2		73		
				計	66	0			
2	6月16日	砂丘	115	8月16日	17		61	14.78%	第2区:朝 第2区:朝
				8月17日	1		62		
				計	17	0			
3	6月22日	東町	54	8月22日	32		61	59.25%	第1区:朝
4	6月24日	砂丘	84	8月21日	47		58	55.95%	第2区:朝
				計	47	0			
5	6月25日	合戸	121	8月24日	91		60	76.03%	第4区:朝 第4区:朝
				8月30日	1		66		
				計	92	0			
6	6月27日	ヤマハ前	115	8月26日	61		60	54.78%	第3区:朝 第3区:朝 第3区:朝
				8月27日	1		61		
				9月2日	1		67		
				計	63	0			
7	6月28日	砂丘	121	8月24日	86		57	71.90%	第2区:朝 第2区:夜
				8月26日	1		59		
				計	87	0			
8	7月7日	東町	107	8月30日	42		54	39.25%	第1区:朝
9	7月8日	東町	102	8月31日	87		54	85.29%	第1区:朝
				計	87	0			
10	7月10日	合戸	119	8月30日	103		51	86.55%	第4区:朝
11	7月11日	砂丘	110	計	0	0		0.00%	第2区:
12	7月13日	砂丘	122	9月3日	1		52	4.91%	第2区:夜 第2区:朝
				9月4日	5		53		
				計	6				
13	7月20日	東町	131	9月9日	105		51	83.20%	第1区:夜 第1区:夜
				9月10日	4		52		
				計	109	0			
14	7月22日	砂丘	142	9月18日	18		58	14.08%	第2区:朝 第2区:朝 第2区:朝
				9月20日	1		44,459		
				9月26日	1		66		
				計	20	0			
15	7月25日	東町	113	9月23日	1		60	0.88%	第1区:朝
16	7月31日	東町	124	計	0	0		0.00%	第1区:
17	8月1日	東町	130	9月26日	114		56	89.23%	第1区:夜 第1区:夜 第1区:朝
				9月30日	1		60		
				10月5日	1		65		
				計	116	0			
18	8月2日	東町	136	計	0	0		0.00%	第1区:
19	8月5日	東町	105	8月17日	83		12	69.74%	第1区:夜
				計	83	0			
合計			2,153		970	0			
平均							1,589.03	45.05%	

放流頭数	970
0%巢を除いたふ化率	45.05%

最大ふ化率	86.55%
最小ふ化率	14.78%

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	0	0.00%	0	0.00%
80%以上90%未満	4	21.05%	482	22.39%
70%以上80%未満	2	10.53%	242	11.24%
60%以上70%未満	2	10.53%	207	9.61%
50%以上60%未満	3	15.79%	253	11.75%
40%以上50%未満	0	0.00%	0	0.00%
30%以上40%未満	1	5.26%	107	4.97%
20%以上30%未満	0	0.00%	0	0.00%
10%以上20%未満	2	10.53%	257	11.94%
1%以上10%未満	2	10.53%	122	5.67%
0%	3	15.79%	483	22.44%
計	19	100.01%	2,153	100.01%

区名	巢数
第1区	9
第2区	7
第3区	1
第4区	2
計	19

## 第12表

令和3年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
6月1日											
6月2日											
6月3日											
6月4日											
6月5日											
6月6日											
6月7日											
6月8日											
6月9日											
6月10日											
6月11日											
6月12日	26.4	25.8	26.2	26.2					21.8	22.8	26.5
6月13日	26.0	25.4	25.9	25.8					21.9	23.9	26.1
6月14日	25.5	25.3	25.7	25.5					21.4	24.4	25.8
6月15日	24.8	24.7	25.1	24.8					20.3	22.3	25.1
6月16日	25.5	25.3	25.8	25.5					22.4	25.3	25.6
6月17日	24.2	24.2	24.3	24.3					19.2	20.4	24.3
6月18日	24.8	24.9	24.9	24.8					20.5	22.2	24.9
6月19日	24.7	24.8	25.1	25.0					21.9	22.3	25.1
6月20日	23.6	23.6	23.7	23.7					20.8	21.1	23.6
6月21日	24.3	24.2	24.6	24.4					21.3	22.4	24.5
6月22日	25.1	25.0	25.6	25.2					20.8	22.5	25.4
6月23日	25.5	25.4	25.7	25.5					22.8	24.5	25.7
6月24日	25.5	25.4	25.7	25.5					21.2	24.0	25.7
6月25日	25.9	25.9	26.5	26.1					21.9	25.7	26.5
6月26日	26.5	26.2	26.8	26.4					22.7	26.0	26.7
6月27日	26.2	26.2	26.5	26.3					21.8	24.9	26.4
6月28日	25.6	25.5	25.8	25.7					21.9	23.4	25.5
6月29日	25.7	25.5	25.9	25.7					22.2	22.7	25.7
6月30日	25.3	25.5	26.0	25.6					23.3	23.5	25.7
平均	25.3	25.2	25.6	25.4					21.6	23.4	25.5

初産卵

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

### 第13表

#### 令和3年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
7月1日	24.6	24.8	25.3	24.8					21.3	21.6	24.8
7月2日	22.8	22.8	22.9	22.8					22.0	21.6	22.9
7月3日	23.2	23.2	23.3	23.2					23.8	23.8	23.3
7月4日	24.2	24.0	24.1	24.0					22.3	23.0	24.1
7月5日	23.5	23.5	23.7	23.7					23.6	23.2	23.6
7月6日	24.6	24.7	24.8	24.6					24.7	24.6	24.7
7月7日	24.7	24.7	24.8	24.7					24.5	24.5	24.8
7月8日	24.7	24.7	25.1	24.8					23.7	23.9	24.9
7月9日	25.1	25.1	25.5	25.1					24.3	24.8	25.1
7月10日	25.9	25.9	26.4	26.0					24.5	25.8	26.0
7月11日	26.9	27.2	27.5	27.1					25.4	27.5	27.2
7月12日	27.6	27.8	28.0	27.7					23.7	27.1	27.7
7月13日	27.6	27.9	28.2	27.8					23.2	26.5	27.8
7月14日	28.0	28.2	28.7	28.3					24.7	27.8	28.3
7月15日	26.8	27.3	27.8	27.2					23.3	23.8	27.2
7月16日	27.1	27.3	27.8	27.1					25.4	25.4	27.3
7月17日	27.4	27.8	28.1	27.4					24.6	25.9	27.8
7月18日	28.2	28.5	28.7	28.2					24.4	27.6	28.5
7月19日	28.8	29.1	29.3	28.8					24.9	27.8	29.2
7月20日	29.2	29.5	30.0	29.4					25.0	28.7	29.5
7月21日	29.3	29.9	30.3	29.7					24.0	27.9	29.9
7月22日	29.7	30.1	30.6	30.0					25.6	29.1	30.0
7月23日	29.7	30.2	30.7	30.1					25.1	29.2	30.4
7月24日	30.0	30.6	31.1	30.3					25.3	29.3	30.6
7月25日	30.3	30.9	31.2	30.6					26.1	29.7	30.9
7月26日	30.2	30.8	31.2	30.5					24.9	29.6	30.8
7月27日	30.4	30.9	31.5	30.8					25.9	29.4	30.8
7月28日	29.8	30.3	30.8	30.2					26.8	28.8	30.2
7月29日	30.0	30.4	31.1	30.4					26.6	29.3	30.5
7月30日	30.2	30.7	31.1	30.5					26.5	29.4	30.6
7月31日	30.1	30.8	31.3	30.7					25.0	27.9	30.8
平均	27.4	27.7	28.1	27.6					24.6	26.6	27.7

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第14表

令和3年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
8月1日	30.3	30.9	31.3	30.8					25.1	27.8	30.9
8月2日	30.6	31.2	31.7	31.1					26.0	28.9	31.4
8月3日	30.3	30.9	31.4	30.7					27.7	27.4	30.7
8月4日	29.6	30.2	30.7	30.0					26.1	26.0	30.0
8月5日	30.0	30.6	31.3	30.5					27.1	28.0	30.6
8月6日	30.5	30.8	31.6	30.9					27.6	28.5	30.7
8月7日	31.0	31.2	31.9	31.0					27.8	29.7	31.0
8月8日	30.0	30.3	31.0	30.2					25.8	26.4	30.0
8月9日	29.8	30.0	30.6	29.9					27.7	28.4	29.8
8月10日	29.2	29.3	30.2	29.4					27.3	26.9	29.0
8月11日	29.5	29.5	30.4	29.6					24.2	26.3	29.5
8月12日	29.5	29.8	30.6	29.6					25.9	26.6	29.6
8月13日	27.8	27.9	28.7	27.9					23.0	23.8	27.7
8月14日	27.4	27.5	28.3	27.6					25.8	25.8	27.4
8月15日	27.6	28.0	28.5	27.8					26.1	26.4	27.8
8月16日	26.6	27.2	27.7	27.2					22.1	22.7	26.9
8月17日	25.6	26.0	26.6	26.0					23.4	23.2	25.7
8月18日	26.0	26.2	26.5	26.2					26.6	25.4	26.1
8月19日	26.0	27.0	27.3	26.7					23.0	24.3	26.7
8月20日	26.6	26.9	27.3	26.7					23.1	23.8	26.7
8月21日	26.3	26.7	27.0	26.4					23.6	24.0	26.5
8月22日	26.5	26.9	27.2	26.6					23.8	24.6	26.7
8月23日	27.3	27.6	28.0	27.5					26.3	26.7	27.6
8月24日	27.7	27.9	28.3	27.8					24.6	25.7	28.0
8月25日	28.2	28.4	28.6	28.1					27.1	27.6	28.4
8月26日	28.5	28.8	29.1	28.7					26.4	27.1	28.7
8月27日	29.1	29.2	29.4	29.1					24.9	27.6	29.3
8月28日	29.8	30.2	30.5	29.7					25.8	25.5	29.5
8月29日	29.8	29.9	30.6	30.0					25.6	28.7	30.0
8月30日	30.2	30.5	30.9	30.3					26.6	28.9	30.6
8月31日	30.4	30.6	30.9	30.5					26.8	29.5	30.5
平均	28.6	29.0	29.5	28.9					25.6	26.5	28.8

初ふ化

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第15表

令和3年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
9月1日	30.9	31.0	31.0	31.2					31.3	30.6	31.0
9月2日	30.1	30.6	30.9	30.4					27.3	29.2	30.5
9月3日	28.3	29.4	28.9	28.8					23.3	23.0	28.3
9月4日	27.3	27.8	27.9	27.5					24.1	23.8	27.3
9月5日	25.9	26.5	26.2	26.2					23.8	23.2	26.5
9月6日	26.6	27.1	27.6	26.8					23.6	23.8	27.2
9月7日	25.5	26.6	26.7	25.8					22.3	22.3	26.9
9月8日	27.3	27.9	27.9	27.5					23.7	23.3	27.8
9月9日	26.5	26.3	26.5	25.9					23.0	22.3	26.0
9月10日	26.3	26.5	26.6	26.6					22.7	22.6	26.5
9月11日	26.9	27.5	27.1	27.1					23.9	23.9	26.6
9月12日	28.1	28.1	28.2	27.9					24.2	26.2	28.4
9月13日	26.1	26.3	26.5	26.3					22.5	22.2	27.0
9月14日	27.1	27.2	27.4	26.8					24.7	24.5	27.3
9月15日	24.5	24.3	23.8	24.1					22.4	22.8	24.5
9月16日	26.6	26.8	26.7	26.5					23.7	22.5	26.8
9月17日	27.0	27.1	26.9	25.8					22.3	21.9	27.0
9月18日	26.5	26.6	26.6	26.5					24.5	24.4	26.6
9月19日	25.7	26.0	26.0	26.0					24.7	24.5	27.0
9月20日	26.4	26.3	26.7	26.2					22.5	23.0	27.0
9月21日	26.8	26.6	26.6	26.6					22.7	22.5	26.9
9月22日	27.7	28.1	28.5	27.6					25.2	25.6	28.1
9月23日	25.5	26.4	26.5	25.8					23.2	23.2	26.2
9月24日	26.8	27.0	27.0	26.7					22.2	23.0	26.8
9月25日	26.5	26.0	26.9	26.3					23.5	23.0	26.0
9月26日	27.4	27.7	27.8	27.4					23.0	25.0	27.8
9月27日	22.3	23.5	24.1	23.9					21.1	26.8	23.8
9月28日	25.4	25.2	24.4	25.1					22.3	22.1	25.5
9月29日	26.0	25.9	25.1	25.5					22.2	22.3	26.0
9月30日	26.8	26.6	25.9	25.9					23.2	24.7	26.4
平均	26.7	27.0	27.0	26.7					23.6	23.9	27.0

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第16表

令和3年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
10月1日	24.5	24.3	24.2	24.3					22.3	21.8	24.5
10月2日	24.5	24.4	24.9	24.7					22.1	22.3	24.7
10月3日	24.9	25.0	24.5	24.8					23.0	22.9	24.7
10月4日	26.0	26.0	25.8	26.0					22.2	24.0	26.1
10月5日	26.4	26.2	26.2	26.0					21.2	21.0	26.6
10月6日	26.6	26.3	25.8	26.0					19.6	22.1	26.5
10月7日	27.0	26.7	26.4	26.6					23.7	23.9	26.7
10月8日	26.7	26.7	26.5	26.5					21.1	23.2	26.8
10月9日	25.4	25.1	24.7	24.7					22.1	22.1	25.2
10月10日	26.8	26.9	26.4	26.4					23.9	24.0	26.8
10月11日	26.1	26.8	26.5	26.0					22.1	23.0	26.9
10月12日	26.7	26.3	25.7	25.9					22.5	22.7	26.6
10月13日	27.3	26.9	26.3	26.4					23.0	24.8	27.1
10月14日	24.1	23.6	23.6	24.1					20.6	20.0	24.1
10月15日	24.5	24.8	24.2	24.5					20.0	21.0	25.1
10月16日	23.9	24.4	23.4	23.4					22.0	21.8	24.3
10月17日	24.2	24.0	24.2	24.2					18.5	19.5	24.4
10月18日	23.3	23.7	24.0	24.0					16.9	17.0	24.2
10月19日	23.0	23.5	23.6	23.6					15.0	16.0	23.4
10月20日	21.0	21.5	21.3	21.3					14.4	13.4	21.5
10月21日	18.0	18.4	17.6	17.1					10.8	10.8	17.8
10月22日	19.9	19.5	19.0	19.4					16.5	16.1	20.0
10月23日	16.7	16.7	17.5	17.1					14.2	14.1	16.6
10月24日	20.0	19.7	19.1	19.7					16.7	16.2	19.8
10月25日	16.8	16.7	16.9	17.0					17.0	17.1	16.5
10月26日	18.9	18.6	18.5	18.4					16.0	15.8	18.5
10月27日	19.9	18.9	19.5	18.5					16.2	16.3	19.4
10月28日	21.0	20.6	20.0	20.6					16.6	16.5	20.7
10月29日	21.7	21.1	20.6	20.8					16.5	18.3	21.6
10月30日	21.3	21.4	20.4	20.6					16.9	17.0	21.0
10月31日	22.0	21.3	20.8	21.3					16.7	16.6	22.0
平均	23.2	23.1	22.8	22.9					19.0	19.4	23.2

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。



1 R3.8.13 ウミガメ初ふ化 63頭 1



2 R3.8.13 ウミガメ初ふ化 63頭 2



3 R3.9.15 御前崎小学校子ガメ引渡し式 1



4 R3.9.15 御前崎小学校子ガメ引渡し式 2



5 R3.11.1 ふ化場掘り起し 1



6 R3.11.1 ふ化場掘り起し 2

写真 14 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子2



## 4 「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の現状変更

### (1) 御前崎小学校短期育成アカウミガメ(子ガメ)への標識の装着

現状変更箇所の地番 御前崎市立御前崎小学校  
 許可申請者の名称 個人  
 現状変更箇所の所在地 御前崎市御前崎 3556 番地  
 着手及び終了の時期 令和3年5月24日から  
 令和3年6月10日



第10図 御前崎小学校位置図(1/25,000)

#### ① 現状変更等の内容等及び実施の方法

##### A 目的

アカウミガメは広大な海洋で生活している動物である。近年の科学技術の進歩により生活史は少しずつ解明されてきているが、彼らの海洋での生活は未知な部分が多く、解明されていないことが多くある。静岡県御前崎市から愛知県田原市に広がる遠州灘はアカウミガメの大きな繁殖場の一つで、アカウミガメの産卵生態に関する知見は増えてきているが、ふ化幼体や亜生体に関する知見は非常に少ない。アカウミガメを保全していくためには、生物学的特性を知る必要がある。本現状変更は、アカウミガメの保全に関する基礎的研究のため、アカウミガメの生息範囲や成長などの実態を把握することを目的とする。

##### B 内容

- ・甲長・体重測定（基礎データ収集のため）
- ・御前崎小学校で短期育成しているアカウミガメ6個体に標識を装着（個体識別のため）。

##### C 方法

- ・御前崎小学校で短期育成しているアカウミガメの幼体を計測する。
- ・アカウミガメの幼体を放流する前に金属製の標識装着作業を行う。

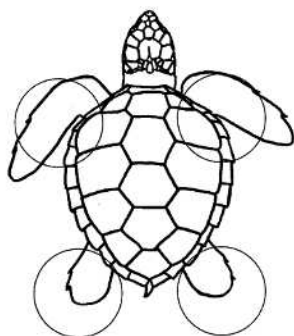
##### D 予想される結果

継続的に本研究を行うことで、北太平洋におけるアカウミガメの生息範囲や成長などの実態を把握することができる。

##### E 金属製の標識を取り付ける場所（第12図参照）

大きさ

- ・前肢部分  
全長 20 mm 幅 2 mm
- ・後肢部分  
全長 7 cm 幅 8 mm



第11図 標識を取付ける場所の模式図



写真15 標識を付けたウミガメの様子1



写真16 標識を付けたウミガメの様子2

(2) 御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事

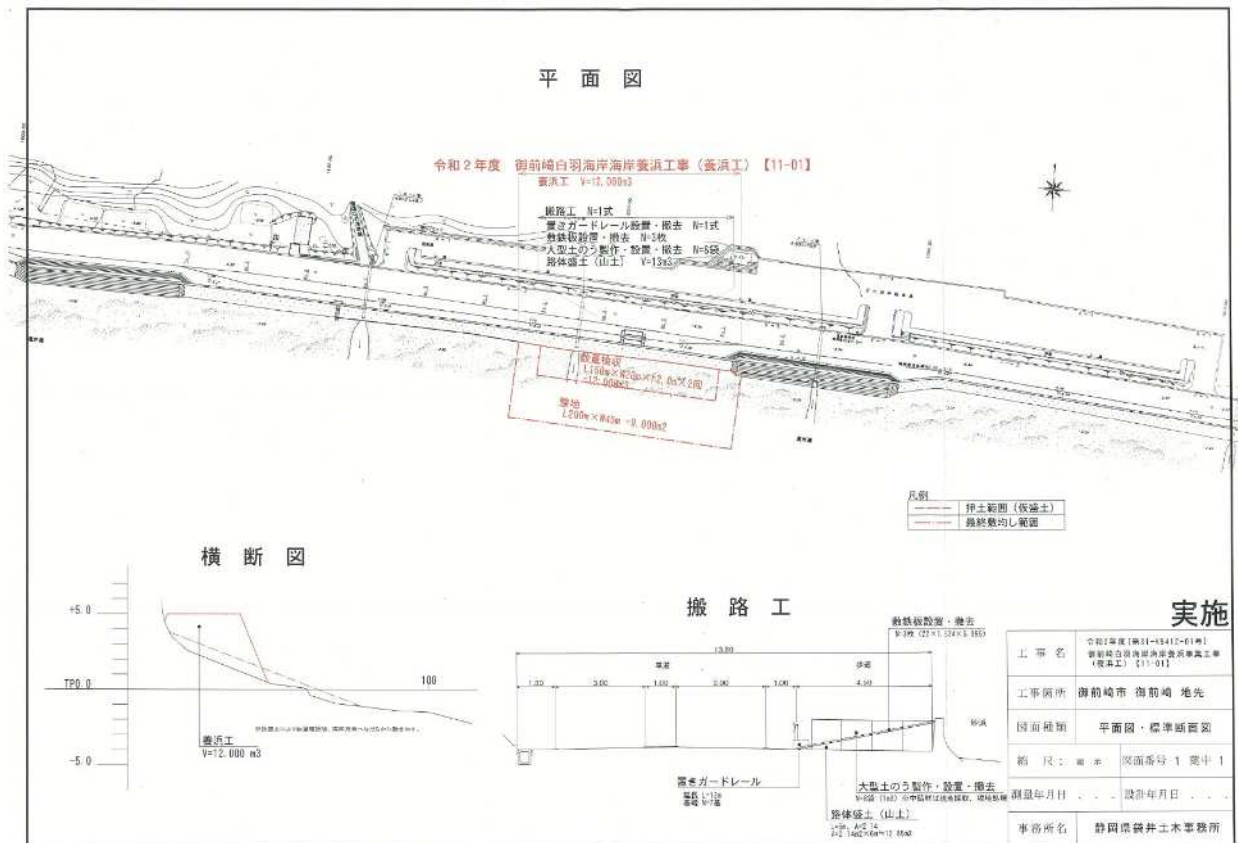
現状変更箇所の地番 御前崎市御前崎地先  
 許可申請者の名称 静岡県知事 川勝 平太  
 事務所の所在地 静岡県静岡市葵区追手町  
 9番6号  
 着手及び終了の時期 令和3年4月16日から  
 令和3年7月15日  
 施工者の氏名 静岡県袋井土木事務所長  
 施工者の住所 袋井市山名町2番1号



第12図 海岸養浜工事運搬経路

① 現状変更等の内容及び実施の方法

砂浜の浸食対策としてマリンパーク御前崎内の浚渫砂及び2級河川箴川の浚渫砂を、ウミガメ巡視区域の指定箇所である3区の区域内に養浜 (V=12,000m<sup>3</sup>) した。ダンプトラックにより土砂を海岸へ直接投入し、その後、ブルドーザーにより周辺地形と調和するようになだらかに敷き均した。



第13図 令和2年度御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事(養浜工)平面図

#### (4) ウミガメ保護活動のまとめ

御前崎のウミガメ保護活動は、昭和 47 年に旧御前崎町教育委員会がウミガメ保護監視員を委嘱してから本格的な活動が始まった。その後、昭和 52 年に県の天然記念物に、昭和 55 年には国の天然記念物に指定された。平成 20 年度からは同じ御前崎市内のウミガメを保護する目的として、浜岡海岸のウミガメについても、ウミガメ保護監視員による保護活動を開始した。現在は、御前崎市教育委員会から委嘱された 8 名のウミガメ保護監視員が保護活動を継続している。

平成 26 年 4 月 1 日からは、アカウミガメが指定希少野生動植物に追加指定されるなど、保護活動のより一層の充実が求められる。

令和 3 年度におけるウミガメのふ化頭数は、前年比で見れば多少増加したが、上陸・産卵頭数及び産卵個数は過去の統計から見れば少ない結果となった。上陸頭数に関しては、統計調査を開始して以来、最も低い結果となってしまった。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、産卵観察会と放流観察会をやむを得ず中止した。

海御前崎の自然も年々変化し、海岸（産卵場所）のゴミ問題や砂浜の減少等、ウミガメの上陸・産卵にとっては厳しい状況であることに変わりはない。

ウミガメが安心して産卵できる環境を整えるため海岸清掃や産卵地の巡視を実施するとともに、静岡県による養浜工が継続して行われている。しかし、風や波の影響で海岸が侵食され続けているのが、御前崎の産卵地における現状といえる。

ウミガメの種を保存していくことを第一に考えつつ、ウミガメから御前崎の自然や文化を伝達し、命の大切さや思いやりの心を少しでも多くの人たちに感じてもらえるように活動していきたい。

ウミガメ保護監視員等への励まし、貴重な御意見・御指導いただいた多くの方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

これからもウミガメ保護活動に、あたたかい御支援・御協力をお願いいたします。



写真 17 御前崎小学校で育ち、大海原に旅立つアカウミガメ

## 2 国指定重要文化財「御前埼灯台」の指定

### (1) 御前埼灯台の概要

- ① 名称 御前埼灯台(おまえさき灯台) |
- ② 員数 灯台1基、旧官舎1棟
- ③ 附 ついたり 旧回転機械分銅自動巻揚装置1式
- ④ 指定 令和3年8月2日(月)
- ⑤ 所有者 国(海上保安庁)
- ⑥ 所在地 静岡県御前崎市御前埼1581番1
- ⑦ 指定基準 歴史的価値の高いもの
- ⑧ 指定文化財の内容



第14図 御前埼灯台の位置(1:25000)

### 1 国指定重要文化財 御前埼灯台

御前埼灯台は、静岡県最南端の太平洋に突き出す駿河湾と遠州灘を隔てる岬の先端、海拔36.7mの場所に建設された洋式灯台である。

海外や地方からの要望等により、明治政府は明治元年から明治5年にかけて13基の灯台を建設し、それらに続き整備すべき様式灯台の一つとして明治5年(1872)から御前埼灯台の建設に着工し、明治7年(1874)5月1日に初点灯した。

建設工事は、幕末から明治前半にかけて日本各地の灯台の建設を主導した、英国人技師リチャード・ヘンリー・ブランソンの指導監督により進められた。

第二次世界大戦中の昭和20年(1945)7月に連日襲って来る艦載機の機銃攻撃を受け、フランスのソーター・ハーレイ社製の八面回転折射器(一等レンズ)、灯器、回転機械などを破壊され、光明を失ったが、仮設の灯器を設置し、この急場をしのいだ。

昭和24年(1949)の戦災復旧工事で灯塔の一部補強、レンズの交換、灯ろうの補修等が行われ、昭和58年に耐震工事、平成28年に改修工事が行われているが、灯器を更新しながら使い続けられ、全体として旧態をよく保持しながら、現在も現役の灯台として使用され続けている。

御前埼灯台は、日本の近代海上交通史や灯台建設史上において、非常に重要であることから、同時期に建設された市内最古の煉瓦造の旧官舎、附指定の旧回転機械分銅自動巻揚装置とともに、令和3年8月2日(月)に官報告示され、御前崎市初の国重要文化財に指定された。

### 2 国指定重要文化財 旧官舎

旧官舎は、灯台を管理する灯台守の住居などに供した煉瓦造の建造物である。平屋建てで、建築面積が163.86㎡、ほぼ東西棟の寄棟造で、北側に半間の庇を葺き下ろしてベランダとし、東西妻面にそれぞれ張出部を付けている。御前埼灯台と同じく市内最古の煉瓦造建物で、灯台守の働きを偲ばせる貴重な建物であることから、御前埼灯台とともに国指定重要文化財に指定された。内部は現在、倉庫及び灯台資料館として利用されている。

### 3 国重要文化財附指定 旧回転機械分銅自動巻揚装置

旧回転機械分銅自動巻揚装置は、昭和 25 年の日本製で御前埼灯台での分銅を利用した回転灯の巻揚装置を示す重要な遺構であるため、国重要文化財の附として指定されている。

使用が停止した昭和 40 年以降も灯室内に設置されていたが、平成 15 年に免振装置を取り付ける際に取り外され、旧官舎の倉庫に分解されて保管された。

その後、令和 3 年 8 月 2 日に国指定重要文化財「御前埼灯台」の附として指定されたのを機に、10 月 22 日に海上保安庁から御前崎市に譲与されたことから、当時の状態が分かるように組み立てて復元され、現在は旧官舎内の御前埼灯台資料館に展示されている。

### 4 指定重要文化財の概要

- (1) 名称 御前埼灯台(おまえさきとうだい)
- (2) 所在地 静岡県御前崎市御前崎字燈明 1581 番 1
- (3) 構造形式
  - ① 御前埼灯台(明治 7 年竣工・初点灯) 1 基  
煉瓦造(床、階段及び開口部は石造)、建築面積 61.98 m<sup>2</sup>、総高 22.47m
  - ② 旧官舎(明治 7 年竣工) 1 棟  
煉瓦構造(屋根はアスファルトシングル葺き)、建築面積 163.86 m<sup>2</sup>
  - ③ 旧回転機械分銅自動巻揚装置(昭和 25 年製) 1 式  
(外形) 高さ 106cm、幅 87cm、奥行 87cm
- (4) 所有者
  - ① 御前埼灯台(灯台、旧官舎)  
海上保安庁(東京都千代田区霞が関二丁目 1 番 3 号)
  - ② 附：旧回転機械分銅自動巻揚装置  
御前崎市(静岡県御前崎市池新田 5585 番地)

### 5 特徴・評価

- ① 御前埼灯台は、明治 7 年に竣工・初点灯した洋式灯台で、海外列強の要求により建設された灯台(※1)に続いて、明治政府が主体的に計画した最初期の洋式灯台(※2)の一つで、幕末維新期における近代航路標識整備の展開を知るうえで価値が高い。
- ② 我が国の近代灯台の礎を築いた英国人技師 R・H・ブラントンの指導により、一等レンズを使用した回転灯を採用し(※3)、日本初の二重円筒構造やコンクリートを用いた基礎工事等の新技術を駆使して築かれた我が国最初期の煉瓦造灯台で、灯台建築史上、非常に重要である。
- ③ 灯台とともに建設された、灯台を管理する灯明番の住居等に供した煉瓦造の旧官舎 1 棟や、御前埼灯台における分銅を利用した回転灯の巻揚機構を示す重要な遺構である昭和 25 年製の旧回転機械分銅自動巻揚装置 1 式も残されている。

※1 米英仏蘭と結んだ「改税条例(江戸条約)、1866年」に基づき建設された観音埼灯台(神奈川県)、神子元島灯台(下田市、国指定史跡)など8灯台や、イギリスと結んだ「大坂約定(大坂条約、1867)」に基づき建設された六蓮台灯台(重要文化財、山口県)、部埼灯台(重要文化財、福岡県)など5灯台。

※2 犬吠埼灯台(重要文化財、千葉県)、角島灯台(重要文化財、山口県)など。

※3 御前埼灯台のレンズは当初我が国最初といわれるフランスのソーター・ハーレイ社製の八面回転折射器(レンズ)を使った一等灯台であったが、第2次世界大戦中に米軍艦載機の機銃掃射の弾丸を受け、レンズが破壊され、その後現在も使われている3等レンズに取り替えられた。

## 6 指定の経緯

昭和62年度 海上保安庁が設置した「灯台施設調査委員会」による明治期灯台を対象とする調査において、「特に貴重な施設であり、改修にあたっては専門委員会に諮り改修方法を検討」すべきAランクの灯台として保存が図られる。

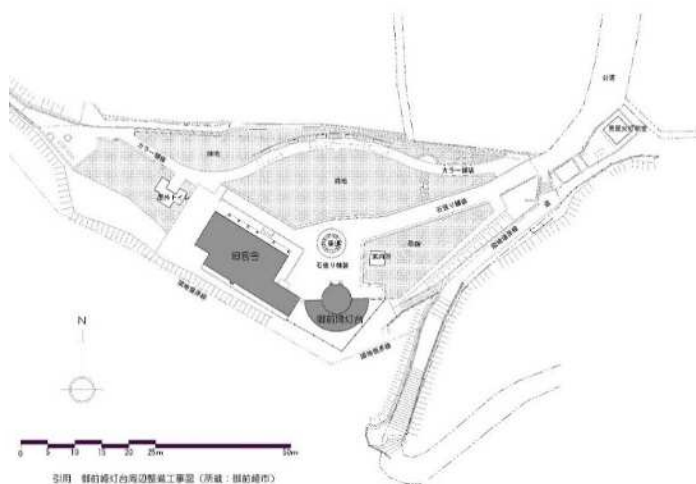
平成21年度 平成22年2月6日に日本経済産業省の認定する「安全な船舶航行に貢献し我が国の海運業等を支えた燈台等建設の歩みを物語る近代化産業遺産群」の1つとして、御前埼灯台が近代化遺産に認定される。

令和2年度 御前埼灯台の文化財調査を市内在住の静岡県文化財建造物監理士に委託して実施。

令和3年3月 御前崎市教育委員会より、御前埼灯台の重要文化財指定にかかる意見具申書を文化庁長官宛に提出。

令和3年5月 国の文化審議会(会長 佐藤信)が、令和3年21日(金)に開催され同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに御前埼灯台を含む7件の建造物を国の重要文化財に指定するよう文部科学大臣に答申された。

令和3年8月 令和3年8月2日(月)に官報告示され御前崎市初の国重要文化財に指定された。



第15図 御前埼灯台周辺の現況配置図



1 御前埼灯台敷地全景(海側上空から撮影)



2 御前埼灯台と旧官舎



3 御前埼灯台



4 旧官舎全景



5 旧官舎内の灯台資料館企画展示室



6 旧回転機械分銅自動巻揚装置

写真 18 国指定重要文化財 御前埼灯台

## (2) 御前埼灯台指定書伝達式

令和3年8月2日に御前埼灯台が国の重要文化財指定を受けたことから、灯台記念日の11月1日に御前埼灯台の所有者を対象に関係者を交えて国重要文化財指定書を伝達する伝達式を御前埼灯台前広場ウミエールで開催した。

御前埼灯台所有者の海上保安庁を代表して、戸田陽一清水海上保安部長に御前埼市の柳澤重夫市長から文部科学大臣名の指定書が渡された。

その後、御前埼市の柳澤市長の挨拶の後、所有者代表である戸田陽一清水海上保安部長の挨拶があり、最後に公益社団法人燈光会の山口和徳第一事業部長と御前埼灯台を守る会の齋藤正敏会長から来賓の挨拶をいただいた。



1 指定書の交付風景 1



2 指定書の交付風景 2



3 御前埼灯台指定書伝達式出席者による集合写真



### 3 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の保護事業

#### (1) 保護事業の内容及び実施の方法

国指定天然記念物である「白羽の風蝕礫産地」は御前崎市が管理団体になっていることから、保護事業として南側の駐車場部分や北側の市道新神子広沢線沿いの除草等業務を実施している。

令和3年度の除草等業務は、一般社団法人御前崎市シルバー人材センター及び株式会社雄樹園に委託して実施した。

一般社団法人御前崎市シルバー人材センターによる駐車場部分(第16図の維持の措置箇所①)の除草等業務は、令和3年6月24日と10月27日に草刈り機などを使用して、県道佐倉御前崎港線から駐車場への入口通路から万葉の歌碑周辺の駐車場部分の除草等業務を実施した。刈った草や竹などについては2tダンプに積んで搬出し、ゴミ焼却場に運搬して処分した。

株式会社雄樹園による市道新神子広沢線沿い(第16図の維持の措置箇所②)の除草等業務は、令和3年8月24日にかけて草刈り機などを使用して、市道新神子広沢線から白羽の風蝕礫産地内に樹木がある部分までの斜面の草や竹などの除草等を実施した。刈った草や竹などについては2tダンプに積んで搬出し、ゴミ焼却場に運搬して処分した。



1 駐車場入口通路の除草等業務施行前



2 駐車場入口通路の除草等業務施行後



3 万葉の歌碑周辺駐車場の除草等業務施行前



4 万葉の歌碑周辺駐車場の除草等業務施行前



1 除草作業施行風景 1



2 刈った草のダンプへの積込風景



3 除草等業務の施工前 1



4 除草等業務の施行後 1

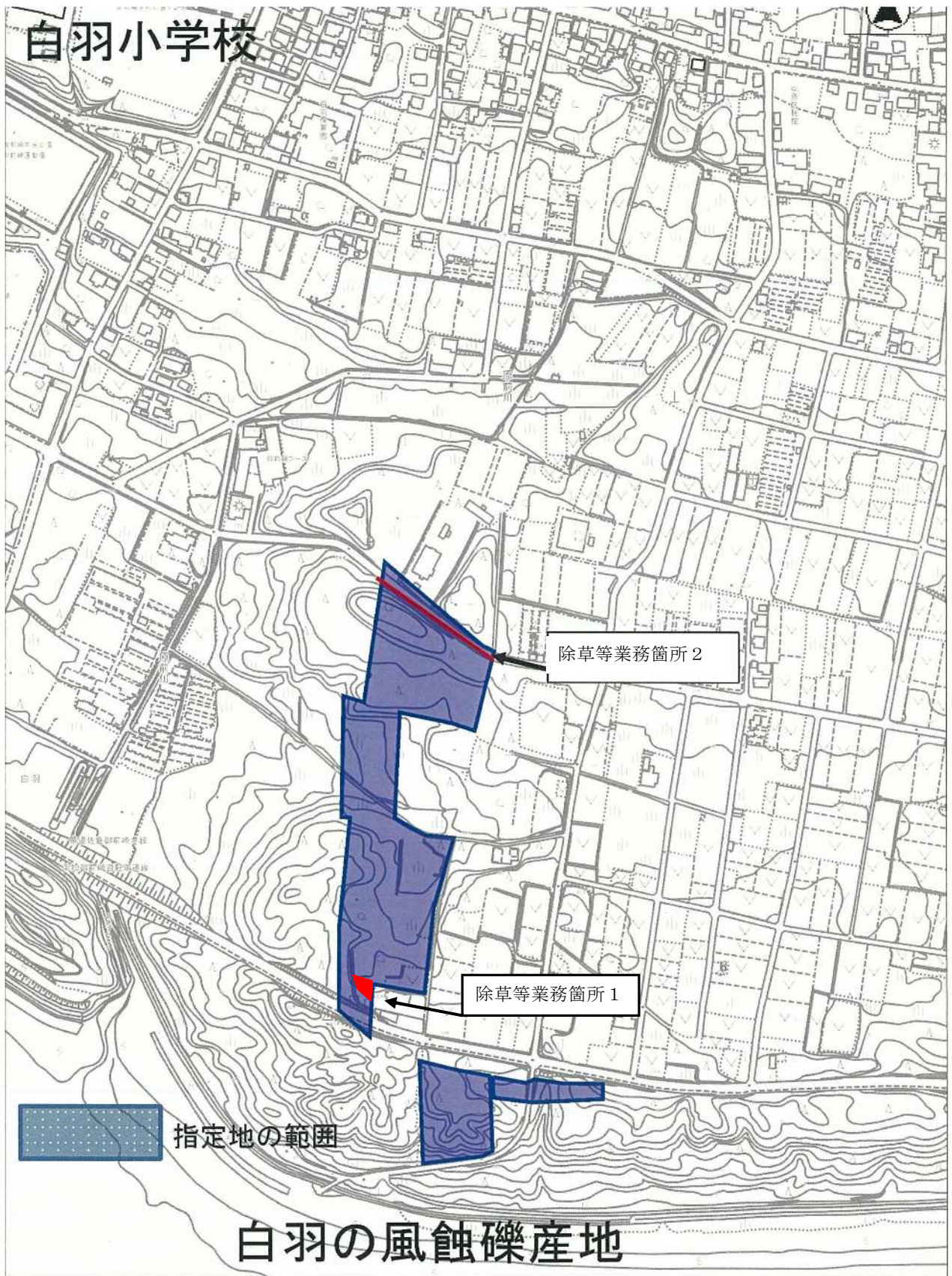


5 除草等業務の施工前 2



6 除草等業務の施行後 2

写真 21 白羽の風蝕礫産地市道新神子広沢線沿いの除草等業務 2



第 16 図 白羽の風蝕礫産地の除草等業務箇所位置図

## 4 市指定有形文化財「白羽神社本殿」の修理

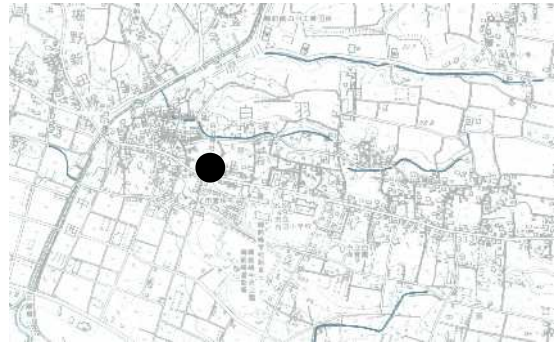
### (1) 修理に至る経緯

白羽神社の宮司から連絡があり、令和2年8月25日9時頃に白羽神社本殿を確認したところ、経年劣化により本殿回廊及び欄干の一部欠損しており、跳高欄と本殿繋ぎの接続不良箇所があり、欄干右側の欄干先端部のほこき部分が欠損していることが判明した。

その後、令和2年9月4日付で所有者の白羽神社4宮から御前崎市教育委員会に指定文化財滅失・損傷等届出書の届出があった。

そして、令和2年9月30日付で令和3年度の御前崎市文化財保存事業補助金の文化財保存事業計画書の提出があった。

令和3年5月7日に文化財保存事業補助金交付申請があり、令和3年5月11日付御教社第198号で補助金の交付を決定したため、令和3年6月10日から6月30日まで株式会社増田建設による白羽神社本殿修繕工事が実施された。



第17図 白羽神社本殿の位置(1/25,000)



写真22 白羽神社の拝殿(前)と本殿(後)

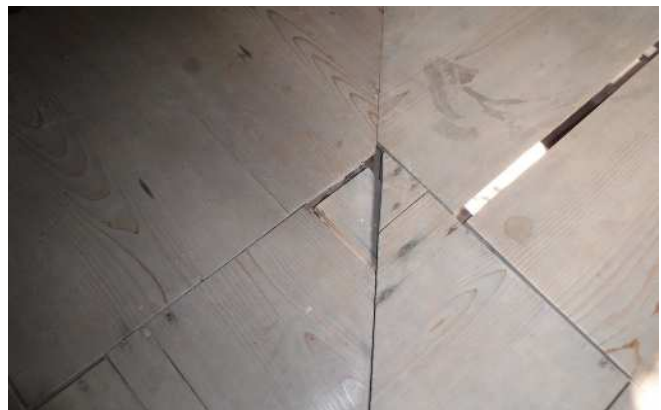


写真23 本殿回廊床の損傷状況1



写真24 本殿回廊床の損傷状況2



写真25 本殿階段及び框の損傷状況

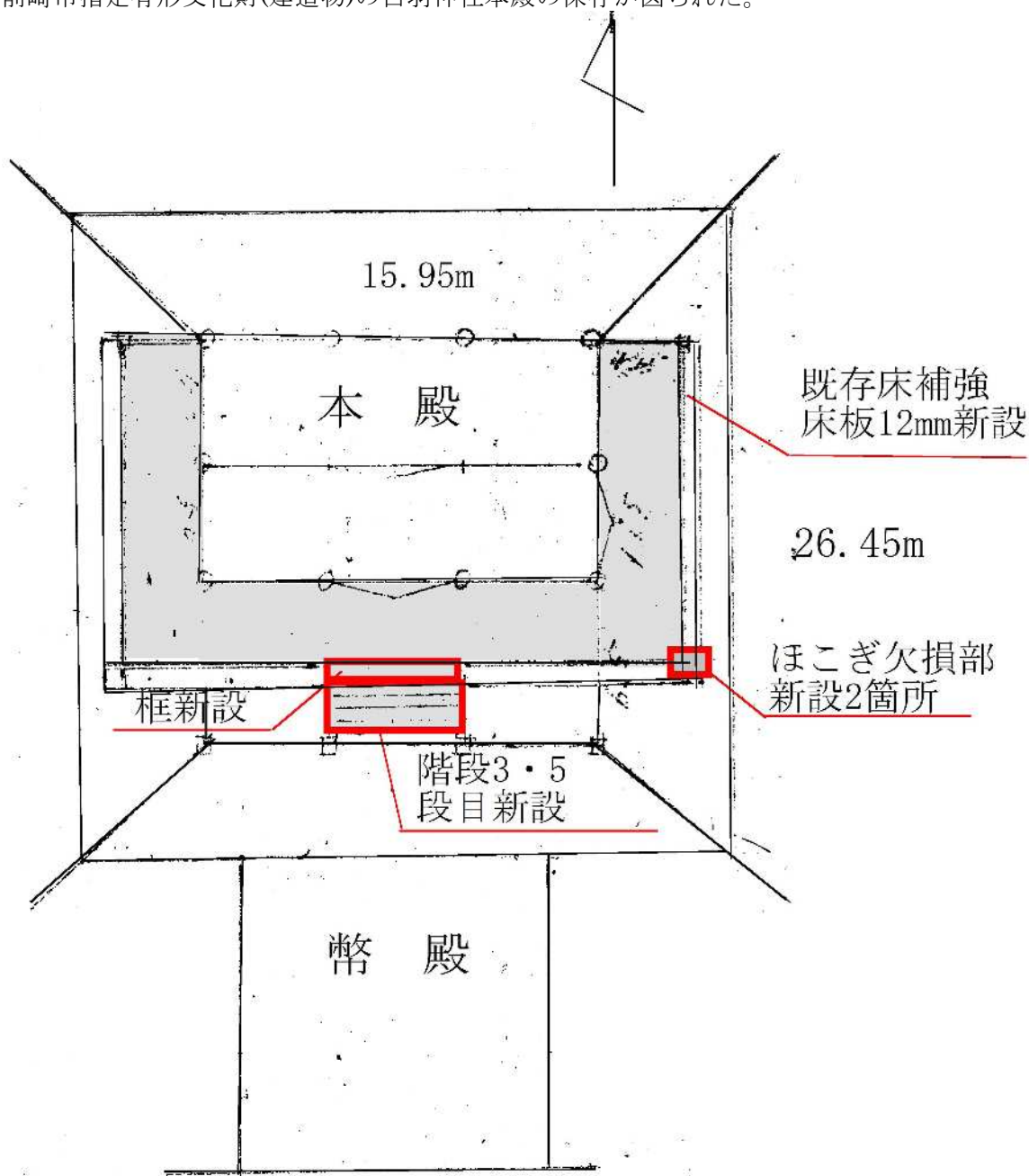


写真 26 本殿框の損傷

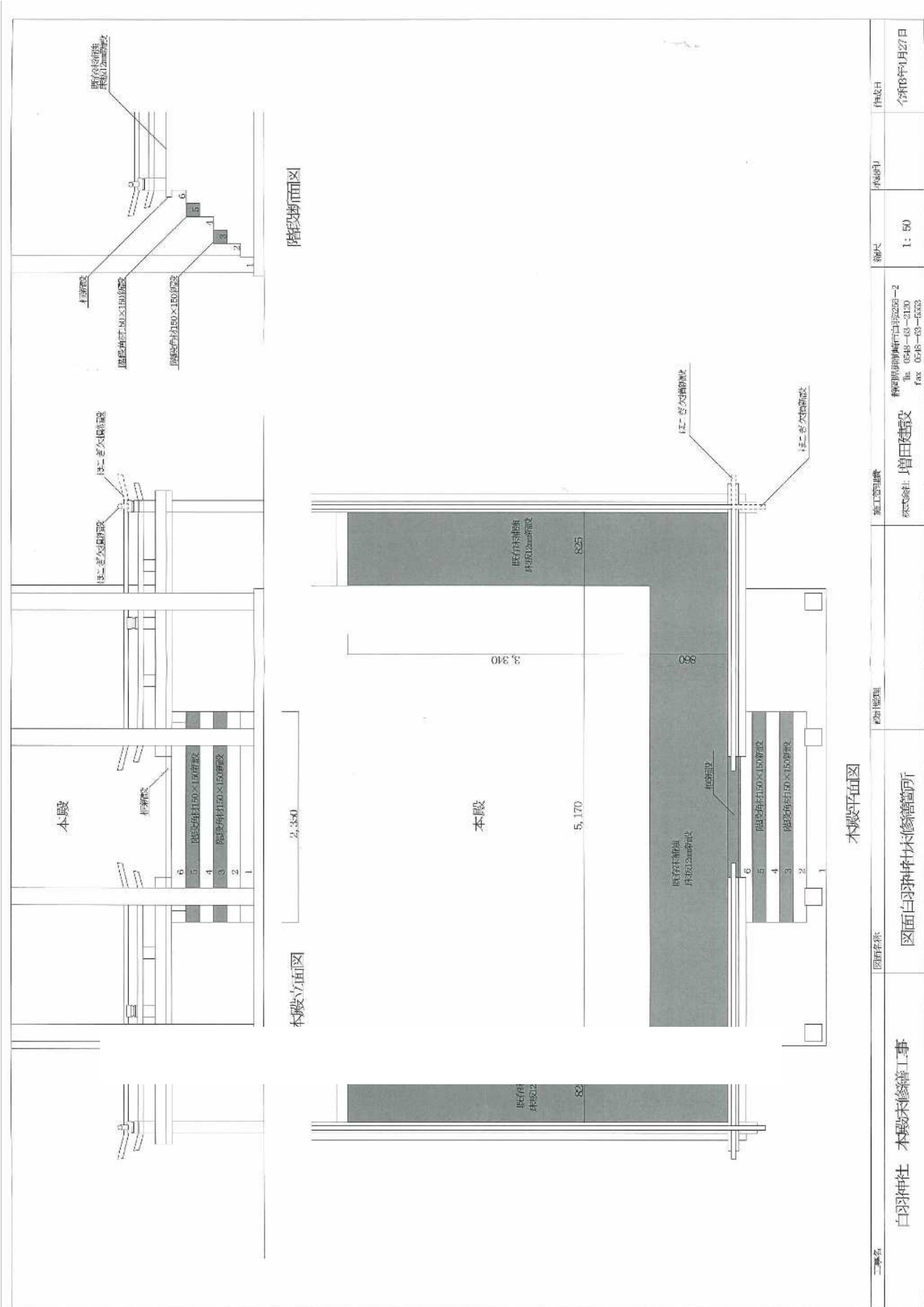


写真 27 本殿回廊ほこぎの損傷状況

その結果、白羽神社本殿回廊の総称している既存床板すべての補強し、回廊の既存床板の上に 12mm の床板を新設した。また、回廊のほこぎ欠損部(2箇所)の修繕、框の取替と 3 段目と 5 段目の階段の取替が実施され、御前崎市指定有形文化財(建造物)の白羽神社本殿の保存が図られた。



第 18 図 白羽神社本殿床修復箇所平面図(1/600)



第 19 図 白羽神社本殿修繕箇所平面図

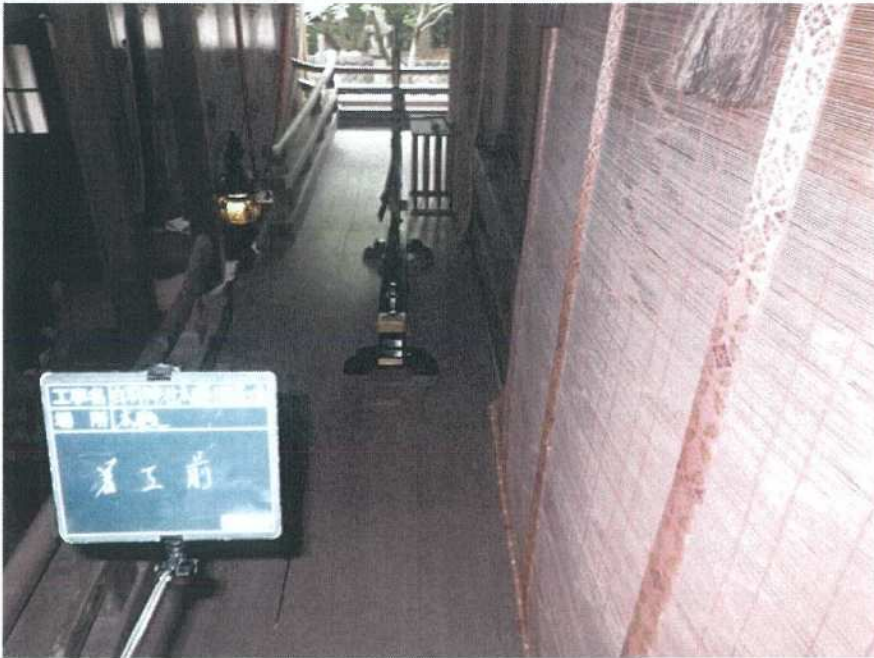
工事名	白羽神社 本殿修繕工事	図面名称	図面白羽神社本修繕箇所	施工管理職	増田建設	設計	1: 50	作成日	令和8年4月27日
					株式会社 増田建設 Tel. 03-68-13-2100 Fax. 03-68-13-5332				



白羽神社本殿

框修繕

着工前



白羽神社本殿

床修繕

着工前



白羽神社本殿

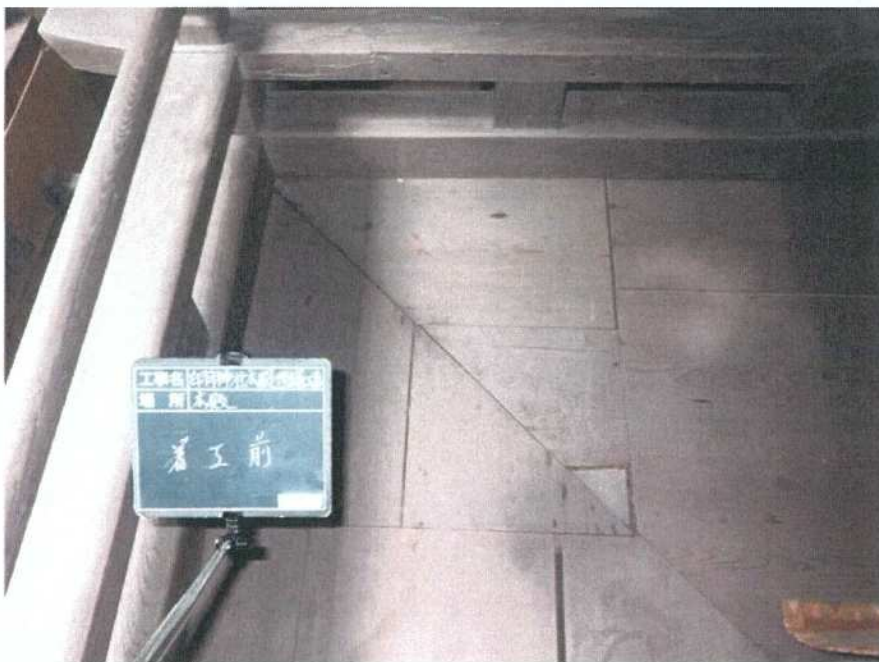
床修繕

着工前



白羽神社本殿

床修繕  
着工前



白羽神社本殿

床修繕  
着工前

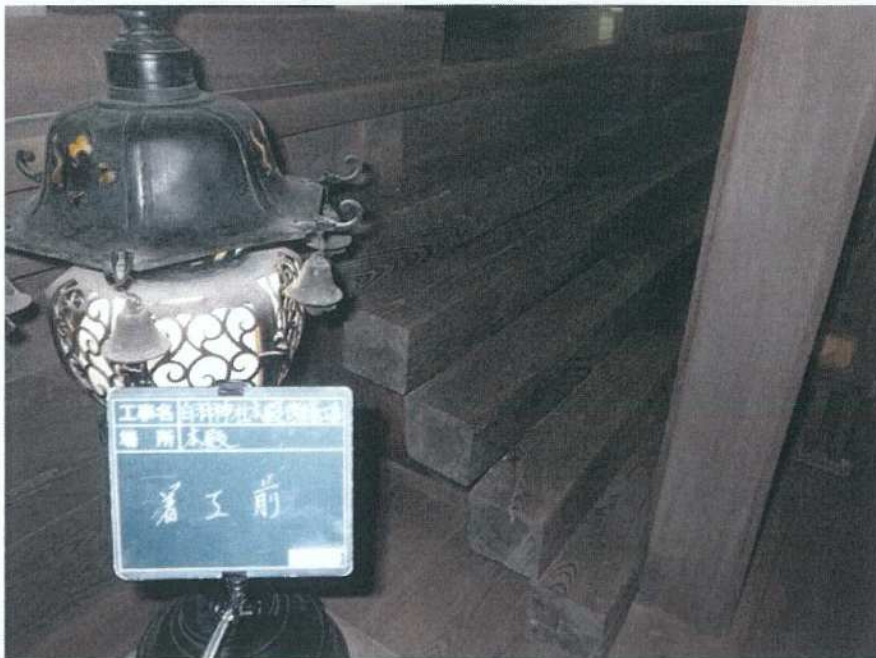


白羽神社本殿

床修繕  
着工前

写真 29 白羽神社本殿修繕工事写真 2





白羽神社本殿

階段修繕  
着工前



白羽神社本殿

手摺(ほこぎ)修繕  
着工前



白羽神社本殿

床下地修繕  
施工状況

写真 30 白羽神社本殿修繕工事写真 3



白羽神社本殿

框修繕  
施工状況



白羽神社本殿

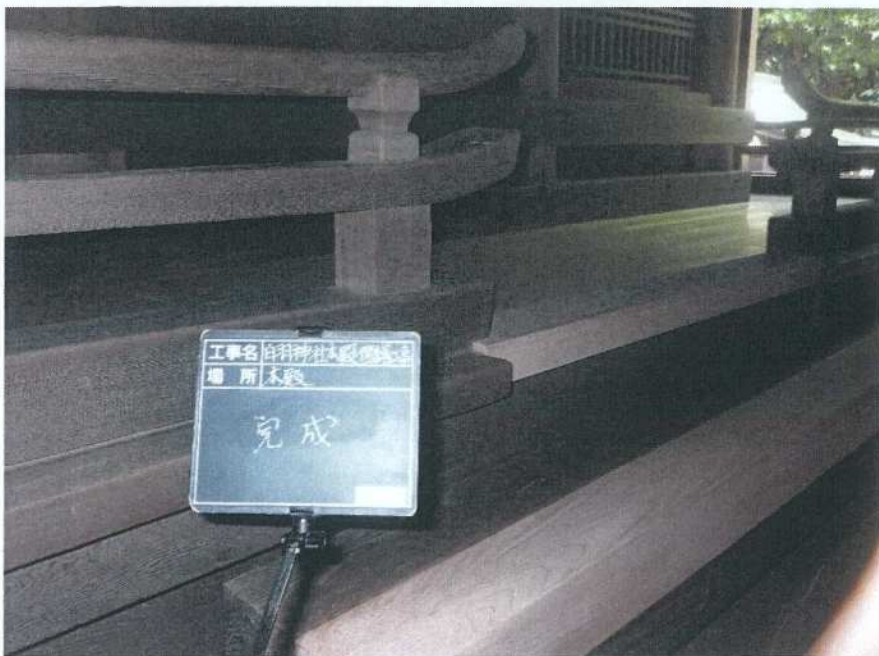
床修繕  
施工状況



白羽神社本殿

階段修繕  
施工状況

写真 31 白羽神社本殿修繕工事写真 4



白羽神社本殿

框修繕  
完成



白羽神社本殿

床修繕  
完成



白羽神社本殿

床修繕  
完成

写真 32 白羽神社本殿修繕工事写真 5



白羽神社本殿

床修繕

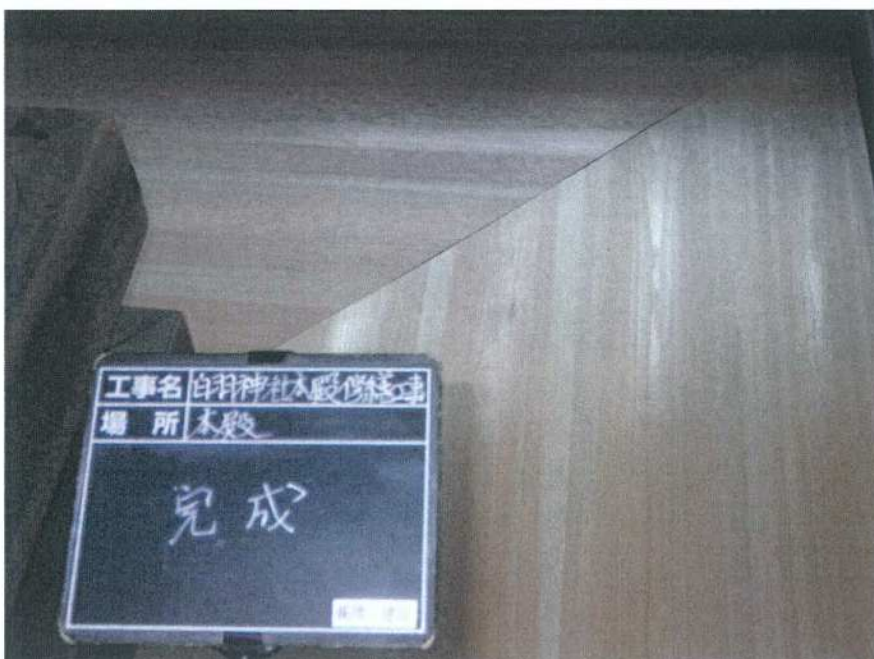
完成



白羽神社本殿

床修繕

完成



白羽神社本殿

床修繕

完成

写真 33 白羽神社本殿修繕工事写真 6



白羽神社本殿

階段修繕  
完成



白羽神社本殿

手摺(ほこぎ)修繕  
完成

写真 34 白羽神社本殿修繕工事写真 7

## 5 市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の青い目の人形」の修理

### (1) 修理に至る経緯

旧朝比奈小学校の青い目の人形は、平成 20 年 12 月 19 日に市指定有形文化財に指定され、それと同時に所有者が御前崎市立北小学校から御前崎市教育委員会に変更された。

市指定有形文化財の指定と共に所有者が変更したのは、小学校では適切な保管や修復するのが難しいため、平成 21 年 3 月 18 日に浜岡北小学校で開催された「お別れ会」において、新しく所有者となった御前崎市教育委員会が今後、旧朝比奈小学校の青い目の人形の保存や修復を適切に行っていくことを浜岡北小学校に伝えている。

そして、平成 21 年度に株式会社吉田生物研究所に委託して「旧朝比奈小学校の青い目の人形」の保存処理を実施した。しかし、この時はクリーニング(水及びエタノール)及び処理剤による青い目の人形の衣服や髪胴部の繊維のみの保存処理を実施したが、それ以外のコンポディションの部分については保存処理や修復ができなかった。

その後、「旧朝比奈小学校の青い目の人形」のコンポディション部分の修復や保存処理ができる業者を探していたところ、県内にある静岡文化財研究所で以前に富士市立博物館の青い目の人形「メリー」の修復を行ったことが判明したことから、「旧朝比奈小学校の青い目の人形」の保存修復業務を委託することとなった。業務委託期間は、令和 3 年 6 月 2 日から 10 月 25 日である。保存修理の方法は、下記の仕様書のとおりで、資料の状況を事前調査し、その後、クリーニング、剥落止め、補填・整形、彩色を行い、保存修理の方法が「旧朝比奈小学校の青い目の人形」保存修復業務結果報告にまとめられている。

### (2) 青い目の人形保存修復仕様書

- 1 事前調査 保存修復前の資料の状況を写真撮影し、記録する。
- 2 クリーニング 資料に付着する汚れや塵を古色を損なうことなく筆、綿棒、エタノールなどで除去する。
- 3 剥落止め アクリル樹脂（パラロイド B72、2～5%キシレン溶剤）を塗布し、素材を強化することで剥落を防止する。
- 4 補填・整形 欠損部分、亀裂部分にエポキシ樹脂（セメダインハイスーパー5）とフェノールマイクロバルーンとを混和したパテあるいは石粉粘土を補填する。  
また、補填部は精密加工機（リユーター）で整形する。
- 5 彩色 補填部分はアクリル絵の具で彩色し、周囲との調和を図る。
- 6 報告書作成 保存修復に用いた材料、方法等を記録し、保存修復後の資料の状況を写真撮影し修復報告書を作成する。

記録カード

名前:「マーベル・ワレン」

所蔵:御前崎市

<特徴>

目:ブルー

髪:ブロンズ

身長:約 36 cm

・目が上下に可動

・右腕少し可動

左腕は可動せず



正面



背面



左側面



右側面



写真 35 旧朝比奈小学校の青い目の人形の修理前の現状 1

御前崎市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の青い目の人形」保存修復業務結果報告書

1 業務の名称 御前崎市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の青い目の人形」保存修復業務

2 業務実施場所 静岡文化財研究所  
静岡市葵区羽鳥7-10-13

3 業務期間 令和3年6月2日～令和3年10月25日

4 業務工程表

下記の工程により修復を実施した。

作業工程	令和3年				
	6月	7月	8月	9月	10月
事前調査	—				
クリーニング	—————				
剥落止め		—			
補填・整形			—————		
彩色				—————	
報告書作成					—

5 修復の工程  
別紙

6 修復資料

青い目の人形 . . . . . 1点



写真2

写真36 旧朝比奈小学校の青い目の人形の修理前の現状 2





X線撮影作業



X線撮影作業



クリーニング作業



補填作業



彩色作業



箱 修復作業



修復前



修復後



修復中の状況

写真37 作業風景及び修復前・修復後写真1



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後

写真38 作業風景及び修復前・修復後写真2



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後

写真39 作業風景及び修復前・修復後写真3



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後

写真40 作業風景及び修復前・修復後写真4



修復中



修復後



修復中



修復後



修復中



修復後



修復中



修復後

写真41 作業風景及び修復前・修復後写真5



修復中



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後



修復前



修復後

写真42 作業風景及び修復前・修復後写真6

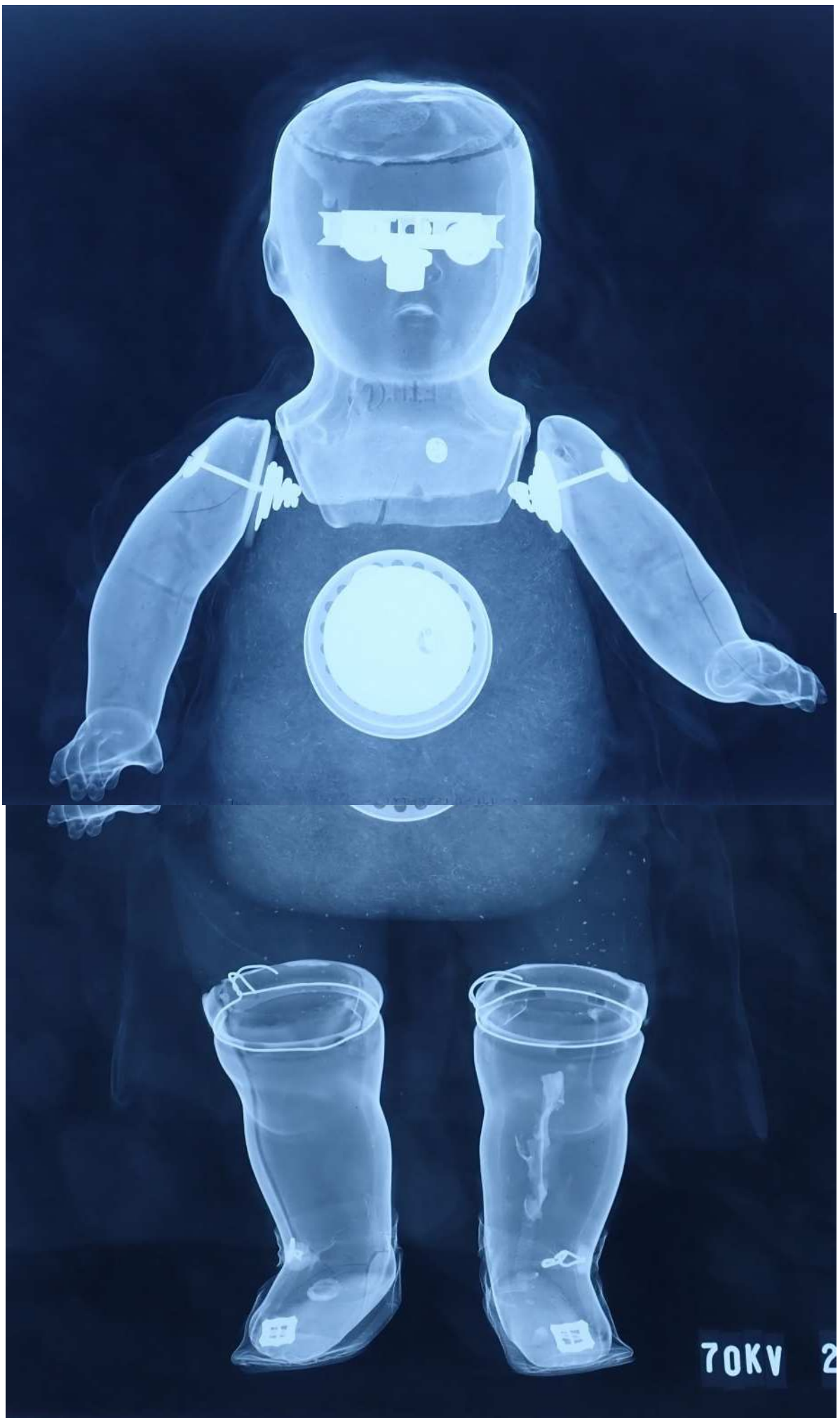


写真43 旧朝比奈小学校の青い目の人形の合成X線画像写真1

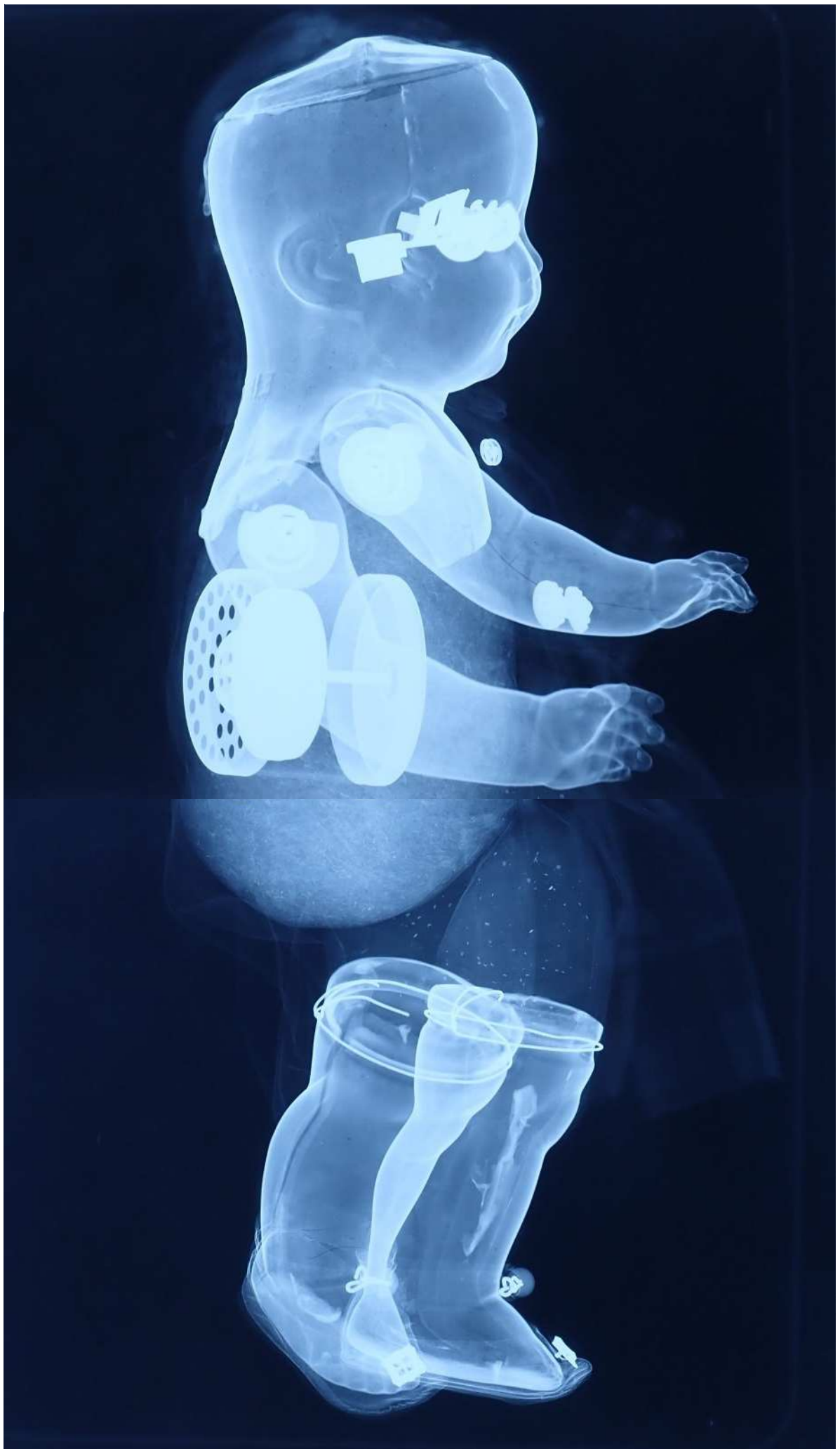


写真44 旧朝比奈小学校の青い目の人形の合成X線画像写真2

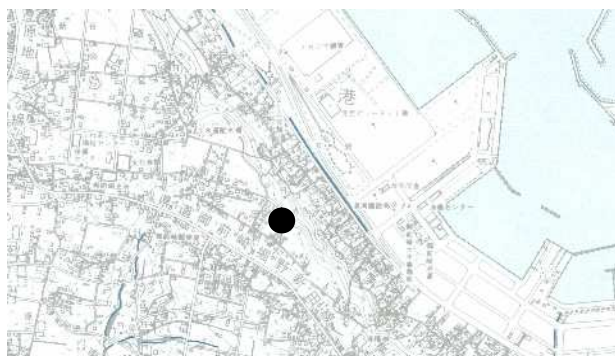


## 6 文化財看板の修繕及び設置工事

### (1) 石造十一面観音立像説明看板の修繕工事

- 1 施工年月日 令和3年6月11日
- 2 施工場所 御前崎市御前崎 5067-1
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

修繕した説明看板は石造十一面観音林蔵が指定された翌年度の平成18年度に設置されたものであったため、経年劣化により看板の盤面が細かくひび割れてしまい、写真や文字が読みにくくなっていたことから今回修繕工事を実施した。



第20図 石造十一面観音立像の位置(1/25,000)



1 説明看板の修繕前



2 説明看板の修繕後

写真 45 白羽の風蝕礫産地・万葉歌碑案内看板修繕工事

(2) 旧妙音庵薬師堂案内看板の修繕工事

- 1 施工年月日 令和3年6月14日
- 2 施工場所 御前崎市下朝比奈1729
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

修繕工事を実施した旧妙音庵薬師堂の案内看板は2面あり、1面は平成16年度の御前崎市制施行時に設置されたものである。もう1面は平成26年度に盤面の修繕工事を行ったが、2面とも経年劣化していたため修繕工事を実施した。



第21図 旧妙音庵薬師堂の位置(1/25,000)



1 修繕前の案内看板(南面) 2 修繕後の案内看板(南面) 3 修繕後の案内看板(北面)

写真46 旧妙音庵薬師堂案内看板の修繕工事

(3) 国指重要文化財「御前埼灯台」説明看板設置工事

- 1 施工年月日 令和3年3月16日
- 2 施工場所 御前崎市御前崎1581-2
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

新規に設置した御前埼灯台の説明看板は、令和3年8月2日に御前埼灯台が国指定重要文化財に指定されたため、市民や観光客等へ周知広報するため御前埼灯台前広場ウミエールの敷地内に設置した。



第22図 御前埼灯台の位置(1/25,000)



写真 47 国指定重要文化財「御前埼灯台」説明看板設置工事

## 7 御前崎市文化財保護審議会

御前崎市文化財保護審議会は、平成16年4月1日に施行された「御前崎市文化財保護条例」及び「御前崎市文化財保護審議会条例」に基づき同年4月に設置された。同会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議し、これらの事項に関して教育委員会に答申することを目的とする。

### (1) 委員の構成（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

役職名	氏名	就任年月日	地区
会長	清水 芳治	R2.4.1 (H24.4.1)	佐倉
副会長	齋藤 正敏	R2.4.1 (H21.4.1)	白羽
委員	大須賀 春爾	R2.4.1 (H3.4.1)	御前崎
委員	中山 貞雄	R2.4.1 (H16.4.1)	高松
委員	橋本 益利	R2.4.1 (H24.4.1)	比木
委員	渥美 周逸	R2.4.1 (H25.4.1)	新野
委員	河原崎 尚己知	R2.4.1 (H30.4.1)	朝比奈
委員	浅井 義幸	R2.4.1 (R2.4.1)	池新田

\*就任年月日の（ ）は、旧町からの初就任年月日を示す

### (2) 第1回文化財保護審議会

日時 令和3年7月28日（水） 13:20～14:40

場所 研修センター102 研修室

議事 (1) 令和3年度文化財保護事業計画について

- ① 資料整理・保存事業
- ② 文化財年報の作成
- ③ 埋蔵文化財保護事業について
- ④ 国指定文化財保護事業について
- ⑤ 県・市指定文化財保護事業について
- ⑥ 文化財による郷土の誇りを育てる事業

(2) 文化財保護審議会委員の選任方法について

(3) その他

- ① 全国近代遺産活用連絡協議会への加入について
- ② その他

# Ⅲ 文化財活用啓発活動

## 1 埋蔵文化財出張授業

埋蔵文化財出張授業は開催希望があった学校や地区センターなどに文化財保護担当職員等が出張して体験学習を中心としたカリキュラムを実施し、市民に埋蔵文化財を見て、触れて、体験してもらい、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。令和3年度は、埋蔵文化財出張授業の開催依頼があった御前崎市立第一小学校6年生と朝比奈地区センター主催の歩け歩け大会参加者を対象に開催した。

### (1) 御前崎市立第一小学校における埋蔵文化財出張授業

- 1. 対象者 御前崎市立第一小学校6年生 109名(1組33名、2組38名、3組38名)
- 2. 開催日時 令和3年6月28日(月) 10時30分～12時10分
- 3. 開催場所 御前崎市立第一小学校 御前崎市池新田1520
- 4. 授業内容 市の文化財を保護する仕事の講演(体育館)・勾玉づくり体験学習(図工室)・昔の火起こし体験学習(体育館前広場)

#### 5. 授業の方法

社会教育課職員3名が第一小学校に出張して、御前崎市の文化財を保護する仕事についての講演、勾玉づくり体験、昔の火起こし体験の3講座を開催した。出張授業の方法としては、3クラスあることから、1つのクラスが3つの講座のどれか1つを30分ずつ授業を受け、終わったら別の講座に移動する方法で行った。



1 講演風景



2 勾玉づくり体験学習風景



3 昔の火起こし体験学習風景

写真 48 御前崎市立第一小学校埋蔵文化財出張授業風景

(1) 朝比奈地区センター主催の歩け歩け大会における埋蔵文化財出張授業

1. 対象者 朝比奈地区センター主催の歩け歩け大会参加者 50 名
2. 開催日時 令和3年11月14日(日) 8時30分～11時00分
3. 開催場所 新野地区の中尾八幡遺跡・幡室遺跡・幡室古墳・篠ヶ谷墳墓群・篠ヶ谷石塔群・八幡平城跡・舟ヶ谷城山・天皇神社東遺跡・有ヶ谷墳墓群・新野左馬助公墓所
4. 授業内容 歩け歩け大会で巡った新野地区の各遺跡の説明
5. 授業方法 社会教育課の芸術文化係の職員1名が同行して、マイクを使用して歩きながら新野地区周辺の各遺跡の説明を参加者に行った。



写真 49 朝比奈地区主催の新野地区歩け歩け大会の埋蔵文化財出張授業風景

## 2 指定文化財出張授業

### (1) 御前崎市立浜岡北小学校における指定文化財出張授業

指定文化財出張授業は、御前崎市内の指定文化財の説明を市内の学校や地域団体を対象に学校や地区センター等に文化財保護担当職員等が出張して、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。

1. 対象者 御前崎市立浜岡北小学校 6年生 34名
2. 開催日時 令和3年6月30日(水) 13時05分～13時50分
3. 開催場所 御前崎市立浜岡北小学校 だいに おん 御前崎市下朝比奈 753番地
4. 授業内容 市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の青い目の人形」の講演

御前崎市立浜岡北小学校が以前所有していた御前崎市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の青い目の人形」についての講演を6年生対象に行ってほしいとの依頼があったため、文化財保護担当職員1名が浜岡北小学校に出張して開催した。

マーベルワレンちゃん物語というテーマで講演を行い、授業を分かりやすくするために浜岡北小学校の児童には、「青い目の人形関連年表」を配布した。



写真 50 浅い目の人形の講演風景

### (2) ふるさとの自然まもり隊における指定文化財出張授業

1. 対象者 ふるさとの自然まもり隊 12名
2. 開催日時 令和4年1月26日(水) 14時00分～15時00分
3. 開催場所 高松地区センター 御前崎市門屋 2060番地の2
4. 授業内容 ウミガメ保護についての講演

ふるさとの自然をまもり隊が郷土研究の一環として、御前崎市を深く知ることを目的としてウミガメの講演会を計画したため、社会教育課のウミガメ保護担当職員と高松地区担当のウミガメ保護監視員1名が出張して、指定文化財出張授業を行った。

最初に職員がウミガメ保護の概要について講演し、その後ウミガメ保護監視員が、その役割やウミガメ保護監視活動における自身の経験談の講演を行った。



写真 51 ウミガメ保護について講演風景

### 3 御前崎市文化財講座

#### (1) 白羽地区の文化財講座の概要

御前崎市内には、古墳、横穴、中世城館や墓地などの埋蔵文化財や建造物、彫刻、絵画、史跡名勝天然記念物などの指定文化財が数多くある。これらの御前崎市内の文化財を活用し、市民の文化財についての理解を深めるため「御前崎市文化財講座」を平成30年度から開設している。令和3年度は、白羽地区の文化財講座を白羽地区センターとの共催事業として開催した。



1 池谷信之特任教授による講演風景 1



2 池谷信之特任教授による講演風景 2

写真 52 白羽地区文化財講座第1回文化財講演会風景 1



1 齋藤正敏副会長による講演風景 1



2 齋藤正敏副会長による講演風景 2

写真 53 白羽地区文化財講座第1回文化財講演会風景 2

・講演会場 御前崎市文化会館大研修室



(2) 白羽地区文化財講座の内容

回数	開催日時	参加人数	テーマ	講師
第1回	令和3年11月13日(土)	33名	「白羽地区の文化財」 『「3万年前の航海」から星の糞遺跡へ』一丸木舟による長距離航海を考えるー	市文化財保護審議会副会長 齋藤正敏 明治大学黒曜石研究センター特任教授 池谷信之
第2回	令和3年11月20日(土)	15名	「白羽地区の文化財巡り」 「白羽神社の文化財」	市文化財保護審議会副会長 齋藤正敏 白羽神社 宮司 高山國臣

○「白羽地区の文化財巡り」コース

白羽地区センター駐車場出発→市指定史跡「星の糞遺跡」→紅雲寺(市指定有形文化財「薬師如来像・月光菩薩像・日光菩薩像・十二神将像」)→増船寺(市指定有形文化財「青銅製地蔵菩薩尊像」)→市指定天然記念物「イスノキ群生林」→白羽神社(市指定天然記念物「マキの木」・市指定有形文化財「白羽神社本殿・武田朱印状」)→国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」→白羽地区センター駐車場到着・解散



1 星の糞遺跡の説明 1



2 星の糞遺跡の説明 2



3 紅雲寺の指定文化財の説明



4 増船寺の青銅製菩薩尊像の説明

写真 54 御前崎市文化財講座第2回白羽地区の文化財巡り 1



1 イスノキ群生林の説明(遠景)



2 イスノキ群生林の説明(近景)



3 白羽神社宮司による白羽神社の説明



4 白羽神社宮司による白羽神社本殿の説明



5 白羽神社宮司による武田家朱印状等の説明



6 白羽の風蝕礫産地の見学風景

写真 55 御前崎市文化財講座第2回白羽地区の文化財巡り2

## 4 御前埼灯台の国重要文化財指定に伴う周知広報活動

### (1) 目的

令和3年8月2日に御前埼灯台が国重要文化財に指定されたことから市民等へ周知広報するために、懸垂幕・横断幕・のぼり旗の製作設置及びパンフレットの作製配布を実施する。

なお、パンフレットについては、国重要文化財に指定された御前埼灯台の魅力や施設内容について、市民や来訪者に分かりやすく伝えるように制作し、御前埼灯台への誘客を図る。

### (2) 業務内容

懸垂幕・横断幕・のぼり旗・パンフレットは、業者に発注して製作した。製作完了後のそれぞれの設置場所は、懸垂幕が御前崎市役所正面、横断幕が御前埼灯台下市営駐車場の渚の交番前、のぼり旗が御前崎市役所駐車場周辺及び御前埼灯台周辺に設置した。

なお、パンフレットについては、全国の参観灯台や指定されている灯台の関係市町、灯台関係団体や灯台に関係する教育機関、県内文化財関係市町、御前埼灯台の燈光会支所、御前埼灯台資料館、御前崎市内の商工会、観光協会等に配布した。

### (3) 設置期間

- ① 懸垂幕 令和3年10月28日～令和4年3月27日
- ② 横断幕 令和3年10月28日～令和4年3月27日
- ③ のぼり旗 令和3年10月28日～令和3年11月30日

### (4) 仕様

#### ① 懸垂幕の規格

- ア サイズ 縦 15,000mm×横 900mm (厚み 0.44mm)
- イ 枚数 1枚
- ウ 素材 遮光ターポリン
- エ カラー フルカラー
- オ 折返し補強加工：要
- カ 紐(クレモナ)：要

#### ② 横断幕の規格

- ア サイズ 縦 900mm×横 7,000mm (厚み 0.44mm)
- イ 枚数 1枚
- ウ 素材 遮光ターポリン
- エ カラー フルカラー
- オ ハトメ加工 縦 900mm ピッチ、横 800mm ピッチ(上下 5 箇所ずつ)
- カ 折返し補強加工：要
- キ 紐(クレモナ)：要

③ のぼり旗の規格

- ア サイズ 縦 1,800mm×横 600mm (チチ：上 3 箇所、サイド 5 箇所)
- イ 枚 数 40 枚
- ウ 素 材 テトロンポンジ
- エ カラー フルカラー
- オ ほつれ防止加工：要

④ パンフレット規格

- ア サイズ A 3
- イ 部 数 3,000 部
- ウ ページ 4 ページ
- エ 刷 色 4 色フルカラー
- オ 製 本 2 つ折 A 4 仕上がり
- カ 用 紙 コート 135 Kg



写真 56 国指定重要文化財「御前埼灯台」懸垂幕の設置状況

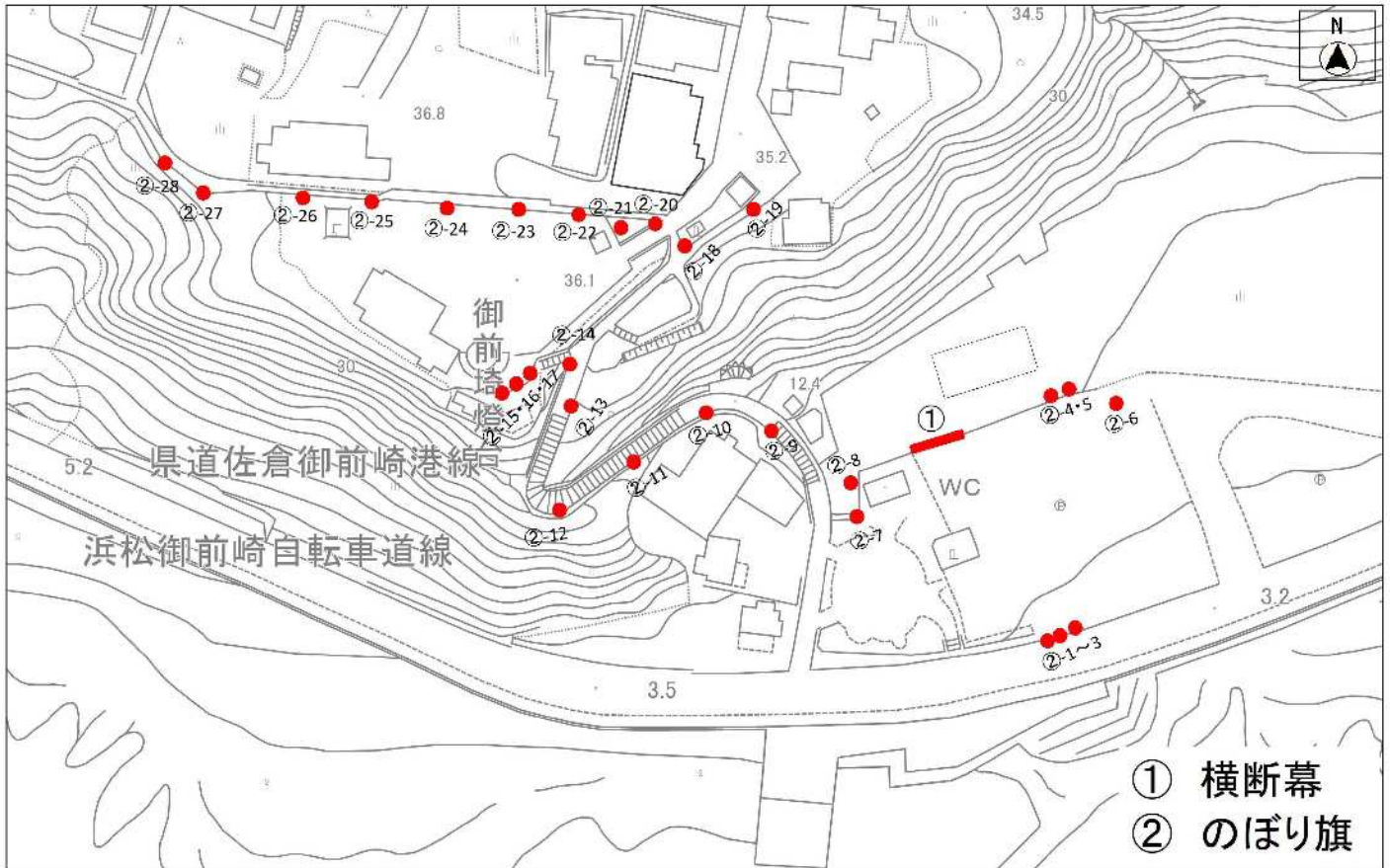
① 懸垂幕

② 横断幕

③ のぼり旗



第23図 懸垂幕・横断幕・のぼり旗のデザイン及び法量



第 24 図 「御前埼灯台」の国重要文化財指定に伴う屋外広告物配置図

縮尺 1 : 1000

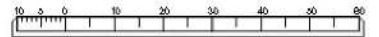


写真 57 国指定重要文化財「御前埼灯台」横断幕の設置状況



1 のぼり旗 No. ②-4・5



2 のぼり旗 No. ②-6



3 のぼり旗 No. ②-7・8・9



4 のぼり旗 No. ②-10・11



5 のぼり旗 No. ②-15・16・17



6 のぼり旗 No. ②-22・23・24・25・26

写真 58 国指定重要文化財「御前埼灯台」のぼり旗の設置状況

**御前埼灯台**

国指定重要文化財

御前埼灯台資料館

入館料 無料

展示内容

所在地

運営

御前埼灯台

静岡県御前崎市教育委員会

御前崎市教育委員会 社会教育課

TEL 0537-58-8735 FAX 0537-58-8737

**国指定重要文化財**

**御前埼灯台**

National Important Cultural Property  
Omaesaki lighthouse  
Since 1874

写真 59 御前埼灯台パンフレット(表紙面)

**国指定重要文化財 御前埼灯台**  
**御前埼の海を明治7年の初点灯から見守りつづける**

静岡県の東部の南にあるまち、御前崎市。  
御前埼灯台は、幕末から明治にかけて日本各地の灯台の建設を主導した、英国人技師リチャード・ヘンリー・ブラントンの指導監督によって建設されました。  
明治5年(1872)に竣工し、明治7年(1874)5月1日に初点灯し、その後、大架を更新しながら使い続けられ、現在も現役の灯台として使われています。

御前埼周辺の海域は、昔ながらの漁業が盛んかつ釣り合のりにより多くの船舶が出入りし、昔からの漁港として賑わい続けてきました。灯台が完成するとともに、港に建設された御前埼灯台は、日本の近代海上交通史や台建設史上において、非常に重要な役割を果たし、同時に建てられた市内最古の歴史ある建物であり、御前埼町の歴史を伝える重要な文化財として、令和3年8月2日、御前埼町の国指定重要文化財に指定されました。



**御前埼灯台の概要**

所在地

建設年

高さ

直径

重量

構造

用途

備考



**灯台資料館内の旧回籠機付自動発信装置**

この装置は明治7年に完成し、当初は灯台の発信装置として使われていた。現在は資料館内にて展示されている。この装置は、灯台の発信装置として使われていた。現在は資料館内にて展示されている。



**御前埼灯台の歴史**

**1872** 明治5年(1872)着工当時の様子

**1945** 第二次世界大戦と御前埼灯台

**1957** 防衛「暮ひも活しあも成月」の口歌

**御前埼灯台の構造**

**国産第三等大架フレネル2面レンズ**

**レンガ(二重円筒構造)**

**灯台正面入り口上部 竣工銘板**

**レンガ(北窓下のアーチ)**

写真 60 御前埼灯台パンフレット(中面)



## 5 国指定重要文化財の現役灯台パネル展

### 1 目的

令和3年8月2日に御前崎灯台が国重要文化財に指定されたことからそれを記念して、11月1日の灯台記念日にあわせ、御前崎灯台の所有者・管理者である海上保安庁第三管区海上保安本部清水海上保安部との共催で国指定重要文化財の現役灯台パネル展を開催し、御前崎灯台の価値を再認識してもらう。

### 2 会場

御前崎市役所ロビー

御前崎市池新田 5585 電話：0537-29-8735

### 3 開催期間

令和3年11月1日（月）～令和4年3月30日（水）  
（土・日・祝日、12月29日から1月3日は見学不可）

### 4 入場料 無料

### 5 実施形態

主催 御前崎市教育委員会・共催 清水海上保安部  
協力 御前崎灯台を守る会

### 7 展示内容

御前崎灯台の重要文化財指定書の写しをはじめ、清水海上保安部が制作した御前崎灯台の展示パネルや令和2年12月23日に4基同時に現役灯台としてはじめて国重要文化財に指定された犬吠埼灯台（千葉県銚子市）、角島灯台（山口県下関市）、六連島灯台（山口県下関市）、部埼灯台（福岡県北九州市）の概要を記した展示パネル、国重要文化財ではないが国の登録有形文化財や史跡、地方公共団体指定の有形文化財を紹介するパネルを展示した。また、御前崎灯台を守る会にも協力していただき、御前崎灯台重要文化財指定記念展のパネルを借用して展示を行った。



写真 61 現役灯台パネル展のチラシ



写真 62 現役灯台パネル展の展示風景

#### (1) 展示パネル(合計7枚)

- ・文化財・重要文化財解説パネル 1枚
- ・御前崎灯台解説パネル 1枚
- ・犬吠埼灯台解説パネル 1枚
- ・六連島灯台解説パネル 1枚
- ・角島灯台解説パネル 1枚
- ・部埼灯台解説パネル 1枚
- ・文化財に登録されている灯台の解説パネル 1枚



写真 63 御前崎灯台を守る会のパネル展示

## 6 写真資料の利用

### (1) 個人による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○座礁した駆逐艦神風と海防艦国後 昭和2年撮影	1枚	自費出版(同人誌)に掲載するため	令和3年 6月10日

### (2) 第一法規株式会社出版編集局による写真利用の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○御前埼灯台 灯台 及び旧官舎(北西より)	1枚	特集「新指定の文化財－建造物」の本文に掲載するため	令和3年 7月5日
○御前埼灯台 全景 (北東より)	1枚	特集「新指定の文化財－建造物」の本文に掲載するため	令和3年 7月7日

### (3) 静岡朝日テレビ報道制作局による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○風紋 浜岡町・閉町 記念写真集 P84 出征兵士の見送り	1枚	静岡朝日テレビ 県内ニュース終戦特集 「忘れられたトーチカ」にて資料映像として 使用	令和3年 8月17日

### (4) 御前崎市比木地区センターによる写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○風紋 浜岡町・閉町 記念写真集 P44 上段 比木尋常高等小学校	1枚	比木地区体育館敷地に比木小学校と幼稚園 跡かせあったことを説明する看板に使用	令和3年 8月23日

### (5) 国立伽耶文化財研究所による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○山ヶ谷古墳出土の 三環鈴	1枚	『加那資料蔵書：日本国内における伽耶資料 編』に掲載するため	令和3年 11月16日

(6) 御前崎ケーブルテレビ放送課による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○皮をむいた芋をペンペン(裁断機)で切りセイロに並べる ○セイロに並べた芋切り干しは棚に載せ自然乾燥する	1枚	まおまお chNEWS 内 御前崎ブランドを紹介するコーナー「御前崎岬ごはん」にて遠州名産ほしいも製造を紹介する際に、製造の歴史について写真を使用したいため	令和4年 1月7日

(7) 一般財団法人地図情報センターによる写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○白羽の風蝕礫産地の風蝕礫	1枚	『地図トレ 地図クイズ大全』に掲載するため	令和4年 2月22日

## 7 歴史民俗資料等の貸出

(1) 中部電力株式会社浜岡原子力発電所『浜岡原子力館郷土展示ホール』貸出資料一覧

貸出資料名	点数	出土地及び使用地	貸出期間
陶器(四耳壺)	1点	比木殿ノ山	令和3年4月1日～令和4年3月31日
須恵器(長頸壺)	1点	石田横穴群	令和3年4月1日～令和4年3月31日
須恵器(平瓶)	1点	実際寺横穴群	令和3年4月1日～令和4年3月31日
風呂鍬	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
麦蒔き機	1点	合戸	令和3年4月1日～令和4年3月31日
水田除草機	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
唐箕	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
背負子	1点	新野	令和3年4月1日～令和4年3月31日
蓑	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
菅笠	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
藁草履	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
消防用手押消火ポンプ	1点	佐倉	令和3年4月1日～令和4年3月31日
竜吐水師	1点	佐倉	令和3年4月1日～令和4年3月31日
消防団法被	1点	佐倉	令和3年4月1日～令和4年3月31日
纏	1点	佐倉	令和3年4月1日～令和4年3月31日
ランプ	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
電話機	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
蓄音機	1点		令和3年4月1日～令和4年3月31日
合計	18点		

(2) 御前崎市立浜岡北小学校への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附：マーベル・ワレンの切符含む)	1点	御前崎市教育委員会	令和3年4月15日～ 令和3年4月26日

(3) 静岡市立登呂博物館への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
南谷遺跡出土木製品	1点	御前崎市教育委員会	令和3年9月22日～ 令和3年12月17日

(4) 御前崎市立浜岡北小学校への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附：マーベル・ワレンの切符含む)	1点	御前崎市教育委員会	令和4年3月16日～ 令和4年3月18日

## 8 歴史民俗資料等の特別利用許可

(1) 静岡市立登呂博物館による特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
南谷遺跡出土 木製品 ○平鋏(柄付き) 1点 ○鋤鋏未成品 7点 ○鋤鋏未成品(掃い鋏?) 2点 ○ほぞ材 8点 ○用途不明木製品(掃い鋏?) 1点	19点	静岡市立登呂博物館 秋季企画展「WOOD」で 展示するための事前 調査(熟覧・写真撮影)	令和3年8月3日

(2) 個人による特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
南谷遺跡出土 骨角牙製品 ○ト骨 3点 ○紡錘車 1点 ○シカ角加工品 2点 ○釣針 1点 ○刺突具 1点 ○針状製品 2点 ○鹿骨加工品 1点	11点	東日本における弥生 時代の骨角製品の研 究のための調査(熟 覧・写真撮影)	令和3年11月24日

(3) 個人による特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
丸尾謙二旧蔵資料 ○517 地方選挙の手引き ○519 役員名簿 ○520 自由民主堂静岡県支部連合会規約 ○447 丸尾謙二講演会趣意書 ○1414～1449 日記・手帳	11点	静岡県下における政党史の研究のための調査(熟覧・写真撮影)	令和3年11月30日～ 令和3年12月2日

(4) 個人による特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附：マーベル・ワレンの切符含む)	1点	掛川市の読書会の会員に写真を閲覧させたいため(熟覧・写真撮影)	令和4年2月24日



写真 64 平鍬(柄付き) 南谷遺跡出土



写真 65 卜骨 南谷遺跡出土

## IV 指定文化財一覧

### 1 国指定文化財

No.	種別	指定名称	所在地	所有者	指定年月日
1	天然記念物	白羽の風蝕礫産地	白羽6621-246他	御前崎市他	S18. 8. 24
2	天然記念物	御前崎のウミガメ及びその産卵地	御前崎海岸	—	S55. 3. 6
3	重要文化財	御前崎灯台(灯台1基・旧官舎1棟)・ 附：旧回転機械分銅自動巻揚装置	御前崎1581-1	海上保安庁・ 御前崎市(附)	R3. 8. 2

### 2 県指定文化財

No.	種別	指定名称	所在地	所有者	指定年月日
1	名勝	桜ヶ池	佐倉5162	池宮神社	S29. 1. 30 第34号
2	彫刻	木造十一面観音立像(1軀)	御前崎4434	海福寺	S31. 10. 17 第118号
3	無形民俗文化財	桜ヶ池のお櫃納め	佐倉5162	お櫃納め保存会	S61. 12. 5 第538号
4	天然記念物	比木賀茂神社の社叢	比木2815	賀茂神社	119. 2. 17 第509号

### 3 市指定文化財

No.	種別	指定名称	所在地	所有者	指定年月日
1	建造物	白羽神社本殿(入母屋造)	白羽3511	白羽神社	S44. 6. 25 第1号
2	建造物	駒形神社本殿(人母屋造)	御前崎937-1	駒形神社	S44. 6. 25 第2号
3	史跡	星の養遺跡(823m <sup>2</sup> )	白羽2179-1他	加藤英男他2名	S44. 6. 25 第3号
4	古文書	武田家朱印状(3通)	白羽3511	白羽神社	S45. 10. 15 第4号
5	彫刻	地藏菩薩尊像(青銅製立像1軀)	白羽3105-1	増船寺	S45. 10. 15 第5号
6	天然記念物	いちょうの木(1本)	御前崎4434	海福寺	S48. 10. 18 第6号
7	彫刻	日光菩薩立像(1軀)・月光菩薩立像(1軀) 薬師如来立像(1軀)・十二神将立像(12軀)	白羽963	紅雲寺	S49. 9. 19 第7号
8	歴史資料	いもじいさんの碑(顕彰碑・宝篋印塔各1基)	御前崎4434	海福寺	S49. 9. 19 第8号
9	古文書	中山家文書(39通)	門屋952-1	中山貞雄	S52. 2. 28 第9号
10	古文書	本間家文書(15通)	池新田5560	本間 周	S52. 2. 28 第10号
11	史跡	薩田ヶ谷横穴群	宮内1047-18	山木雅巳	S53. 9. 4 第11号
12	建造物	旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)	下朝比奈1739	旧妙音庵薬師堂保存会	S62. 10. 28 第12号
13	建造物	池宮神社本殿	佐倉5162	池宮神社	112. 5. 17 第13号
14	天然記念物	イスノキ群生林(十数本)	白羽3454-6	滝 朝夫	H3. 11. 20 第14号
15	絵画	千羽の鶴(1点)	御前崎937-1	駒形神社	116. 1. 31 第16号
16	天然記念物	マキの木(1本)	白羽3511	白羽神社	H6. 1. 31 第17号
17	彫刻	玄翁堂の木造十一面観音菩薩像 (立像1軀・座像1軀)	上朝比奈1030-2	玄翁堂の木造十一 面観音菩薩保存会	1110. 3. 27 第18号
18	彫刻	大日寺の大日如来座像(1軀)	下朝比奈605	大日寺大日如来 保存会	1110. 3. 27 第19号
19	古文書	水野家文書(1通)	池新田5560	水野信幸	H10. 3. 27 第20号
20	歴史資料	御用提灯と取納箱(4点)	池新田5560	御前崎市	1111. 12. 1 第21号
21	有形民俗文化財	石造十一面観音菩薩像(附:石造十三観音像)	御前崎5067-1	増船寺	H17. 1. 1 第22号
22	建造物	高松神社本殿(人母屋造)	門屋2068	高松神社	1119. 9. 25 第23号
23	歴史資料	旧朝比奈小学校の青い日の人形 (附:マーベル・ワレンの切符)	池新田5560	御前崎市教育委員会	1120. 12. 19 (附:1126. 5. 26) 第24号
24	彫刻	岩地正八幡神社神像	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第25号
25	建造物	岩地正八幡神社本殿	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	1127. 12. 25 第26号
26	書跡	徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額	佐倉5162	池宮神社	H28. 11. 25 第27号
27	天然記念物	旧朝比奈小学校の黒松	下朝比奈2681-2	御前崎市	R3. 3. 24 第28号

## V 文化財関係刊行図書一覧

### 1 旧御前崎町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和45年度	『-郷土のかおり-年中行事と習俗』	平成13年度	『おまえぎきの文化財』
昭和61年度	『ふるさとの岬』	—	アカウミガメ上陸・産卵・孵化状況報告書
平成8年度	静岡県御前崎町『星の糞遺跡発掘調査報告書』		

### 2 旧浜岡町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和60年度	『石田・蓮前支群発掘調査報告書』	平成11年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅰ』
昭和63年度	『門屋横穴群石田2号横穴・新井平横穴群発掘調査報告書』	平成11年度	『目で見る 浜岡の文化財』
昭和63年度	『浜岡町文化財』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第7集『比木城山遺跡』
平成8年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第4集『中尾殿之谷横穴群』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第8集『南谷遺跡 遺物編Ⅰ(木製品図版編)』
平成9年度	『郷土の歴史と沿革 浜岡人物誌 池新田・高松編』	平成12年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅱ』
平成9年度	『静岡県指定天然記念物 比木賀茂神社社叢 比木自然公園自然生態系基本調査報告書』	平成13年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第9集『南谷遺跡 遺物編2(木製品本文・石器・骨角製品)』
平成9年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第5集『南谷横穴群』	平成13年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅲ』
平成10年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第6集『山田遺跡』	平成14年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第10集『南谷遺跡 遺構編』
平成10年度	浜岡町佐倉地区民俗調査報告書『「桜ヶ池のお櫃納め」と佐倉の民俗』	平成15年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第11集『南谷遺跡 遺物編Ⅲ(土器・土製品)』

### 3 御前崎町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成2年度	『御前崎町史 資料編』	平成4年度	『御前崎町史 写真集』
平成2年度	『御前崎町史 資料編(近世一)』	平成8年度	『御前崎町史(通史編)』

### 4 浜岡町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和50年度	『浜岡町史』	平成15年度	『桜井家(旧比木村川崎谷)文書』—近世—
平成12年度	『浜岡町所在文書目録 第1集』	平成16年度	浜岡町史別冊四『証言集 町民が語る近現代の歩み』
平成12年度	浜岡町史別冊一『萩原佐吉 茶業見聞録・新道開鑿日記』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(考古)』
平成13年度	浜岡町史別冊二『佐倉村誌・朝比奈村郷土誌』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(古代・中世)』
平成14年度	浜岡町史別冊三『新野村誌・池新田村誌』	平成17年度	浜岡町史別冊五『中世埋蔵銭と古墳時代の横穴・古墳』
平成15年度	『風紋—浜岡町・閉町記念写真集—』	平成22年度	『浜岡町史 通史編』
平成15年度	『浜岡町史 民俗編』		

5 御前崎市文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成16年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第1集 『比木城山遺跡Ⅱ』	平成22年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅵ』平成21年度版
平成16年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅰ』平成16年度版	平成23年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅶ』平成22年度版
平成17年度	御前崎市文化財講座企画展第1弾 『新野川流域の文化財』	平成24年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅷ』平成23年度版
平成17年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅱ』平成17年度版	平成25年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅸ』平成24年度版
平成18年度	御前崎市文化財講座企画展第2弾 『朝比奈川流域と池新田の文化財』	平成25年度	御前崎市の指定文化財
平成18年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第2集 『勝佐墳墓群』	平成26年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅹ』平成25年度版
平成19年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅲ』平成18年度版	平成26年度	御前崎指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」パンフレット
平成19年度	御前崎市文化財講座企画展第3弾 『箴川流域の文化財』	平成27年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅩⅠ』平成26年度版
平成20年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅳ』平成19年度版	平成28年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅩⅡ』平成27年度版
平成20年度	御前崎市文化財講座企画展第4弾 『大原川・中西川流域と御前崎の文化財』	平成29年度	桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレット
平成21年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅴ』平成20年度版	令和元年度	高天神城跡をめぐる武田系城砦群 —御前崎市新野・朝比奈・比木地域とその周辺—
平成21年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第3集 『山田ヶ谷北横穴群』	令和3年度	国指定重要文化財 御前崎灯台パンフレット

※御前崎市文化財年報は、平成29年度版の文化財年報ⅩⅢ以降は刊行していないが、御前崎市のホームページに掲載している。



静岡県御前崎市  
文化財年報XVIII

令和4年3月31日

編集 静岡県御前崎市教育委員会  
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585  
TEL 0537-29-8735  
FAX 0537-29-8737